

内閣官房内閣人事局

女性国家公務員の
ワークスタイル
事例集



女性職員の皆さんへ

現在、政府では、多様な人材を活かして、国民のニーズをきめ細かく把握し、新しい発想による政策対応や行政サービスを可能にするよう、女性職員の採用・登用の拡大や、男女全ての職員の「働き方改革」によるワークライフバランスの推進の実現に向けて取組を進めています。

女性職員の採用は、平成27年度・28年度と2年連続で3割以上となっており、また、28年度は国家公務員の各役職段階に占める女性の割合が過去最高になるなど、女性職員の採用・登用は進んできています。このような中、皆さん1人1人が公務の魅力や仕事の面白さを実感しながらキャリアアップを図っていくことが重要だと考えていますが、一方、現実には、仕事と家庭の両立に悩んだり、不安を感じたりするといった話や、ロールモデルとなる先輩女性職員が身近に余りいないため、今後、どのようにキャリアアップを図っていったらよいのか具体的にイメージしにくいといった話を伺うことも少なくありません。

そこで、内閣人事局では、このような話に対する一つの道しるべとして、様々な分野で活躍している女性職員の方々にスポットライトを当て、仕事をする上でどのようなことを心掛けているか、キャリアアップをしていく上でどのような困難に直面し、どのように乗り越えたかなどを率直に語っていただき、「女性国家公務員のワークスタイル事例集」として取りまとめました。

是非この事例集を御活用いただき、今後公務員生活の中でキャリアを培っていくに当たり、参考になる要素を見付けていただければ幸いです。



女性国家公務員のワークスタイル事例集 目次

① 女性国家公務員のワークスタイル…………… 01-44

係長級

01 内閣官房	山川 朋美	内閣人事局人事評価係長	01-02
02 内閣府	落合 智子	賞勲局審査官付栄典専門職	03-04
03 財務省	乙度 由佳	大阪税関関西空港税関支署旅具通関部門監視官	05-06
04 厚生労働省	恒吉 恵美	東京労働局品川労働基準監督署第2方面主任監督官	07-08
05 経済産業省	宗兼 彰美	経済協力開発機構(OECD)環境局環境健康安全課ナノテクノロジー担当	09-10
06 環境省	澤野 歩美	中部地方環境事務所長野自然環境事務所野生生物課希少生物係長	11-12
07 人事院	松田 翔子	人事課能率厚生管理室共済係長	13-14

本省課長補佐級

08 宮内庁	池和田 有紀	書陵部図書課図書寮文庫第二図書調査室主任研究官	15-16
09 公正取引委員会	相澤 央枝	経済取引局取引部取引企画課消費税転嫁対策調査官主査	17-18
10 警察庁	藤森 敬子	新潟県警察本部刑事部捜査第二課長	19-20
11 金融庁	永山 玲奈	経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部一等書記官	21-22
12 総務省	田中 留美	政策統括官(統計基準担当)国際標準分類専門官	23-24
13 農林水産省	吉田 恵美子	近畿農政局経営・事業支援部地域食品課長	25-26
14 国土交通省	坂井 彰子	札幌航空交通管制部次席航空管制官	27-28
15 防衛省	関 和実	陸上自衛隊小平小学校人事教育部事務官等管理教官室教官	29-30
16 会計検査院	田島 ひとみ	第1局財務検査第1課決算監理室決算専門官	31-32

本省課室長級

17 内閣官房	由布 和嘉子	内閣人事局内閣参事官(給与・退職手当担当)	33-34
18 法務省	杉山 多恵	前橋保護観察所長	35-36
19 外務省	竹内 みどり	研修所総括指導官	37-38
20 文部科学省	庄崎 未果	研究開発局宇宙開発利用課宇宙利用推進室長	39-40

指定職

21 内閣官房	頼 あゆみ	まち・ひと・しごと創生本部事務局次長／内閣府地方創生推進事務局審議官	41-42
22 国土交通省	林 久美	気象庁札幌管区気象台長	43-44

② 女性職員の本音……………45-50

③ 女性職員の活躍・ワークライフバランス推進のための3つの改革について……………51-52

④ 両立支援制度の概要……………53-54

⑤ フレックスタイム制の拡充について……………55-58

⑥ 自分なりのキャリアを見付けるために(株式会社ライフ・ポートフォリオ 前原はづき 代表取締役社長)……………59-62

Model 01

内閣官房
内閣人事局人事評価係長



やまかわ ともみ
山川 朋美
Tomomi Yamakawa

Profile

- 平成19年・総務省入省(II種(行政区分)採用)
人事・恩給局交流係員
国家公務員の民間や地方自治体との人事
交流制度に関する業務
- 平成20年・～結婚
- 平成21年・～長男出産
産前・産後休暇
育児休業(約1年)
育児短時間勤務で復帰
- 平成23年・人事・恩給局人事評価係員
国家公務員の人事評価制度に関する業務
- 平成26年・内閣官房内閣人事局人事評価係員
国家公務員の人事評価制度に関する業務
- ～次男出産
産前・産後休暇
育児休業(約1年)
保育時間と育児時間で復帰
- 平成27年・内閣人事局能力意欲向上担当主査
勤務成績不良職員への対応や障害者雇用
に関する業務
- 平成28年・4月からフルタイム勤務(フレックスタイム
とテレワークを利用)
- ～現在
- 内閣人事局人事評価係長
国家公務員の人事評価制度に関する業務

それぞれに楽しい

制度は、 使ってみないと分からない

長男出産後の復帰時は夫とは休日に顔を合わせる程度だったこと、初めての育児で不安であったということで育児短時間勤務(5時間×5日)を利用しました。次男出産後の復帰時は2人目で慣れてきたこともあり、育児時間(1日2時間短縮)を利用しました。長男が小学校に上がると同時にフレックスタイム制度が活用できるようになったので、テレワークと併用し、フルタイム勤務に戻し、実家の近所に引っ越して小学校の壁を何とか乗り越えました。入学当初はまだ小さいから心配だと思っていた長男は、母親が余り構わなかったためにいつの間にか意外にたくましく成長していて、自分で次の日の予定を考え、準備できるようになっていました。

いろいろ制度を利用してみるとメリット・デメリットが分かり、人事行政の制度官庁という立場でもあるので、制度を利用する側の気持ちも経験できました。

仕事と育児の両立

有り難いことに、制度は利用しようという職場環境なので、前述のとおり、現在も利用しながら、何とか両立しています。出産前は余り時間を意識せず仕事をしていましたが、出産後は勤務時間内に全体のスケジュールに気を付けながら、日々の業務を勤務時間内に終わらせるよう、業務1つがどのくらいの時間が掛かるか、どの順番で行うか、判断に迷えば上司に相談するなどし、係員にも頼りながら、何とか業務を進めているという状況です。自分だけの時間は余りなく、気付くとこんなに時間が経っているというような日が多く、残業がほとんどできず、周囲に頼らざるを得ない状況

ところを見付ける♪

のため、一人前に仕事ができているのか不安になる時もありますが、何か業務が一つ無事に終わったり、上司に感謝の言葉を頂いたり、褒めていただくとうれやいを感じます。

夫は平日だけでなく休日もほとんど頼れないので、子供の病気の時や、お迎えが間に合わない時は私の両親のどちらかが対応してくれたり、長男の習い事の見守りは周囲の父母が対応してくれたり、長男の登下校は近所の方が見守りしてくださったり、と周囲の方々には本当にお世話になっています。人間は一人では生きていけないということを実感しています。

このような状況なので、仕事も育児も家事も中途半端になってはいないかと感じてしまうことがよくありますが、仕事は突き詰めたら終わりがいいし、育児の正解は分からないので、ある程度の納得感は自分で見付けていくしかないかなと思っています。

今後の自分

現在は、あらゆる周囲の方に頼りながら、仕事と育児をしている状況ですが、そのうち子供の手が離れた時には、私の経験(制度利用、育児等)を恩返しできるよう、頼られるような人になりたいと思います。



一日の タイムスケジュール例

- 6:00 起床、朝食準備
- 6:40 子供起床、夫出勤、子供と朝食
- 7:50 長男登校、次男を保育園に送り、出勤
- 9:00 登庁、メール確認、業務
- 12:00 昼休み
- 12:45 業務開始
- 17:30 退庁
- 18:30 長男と次男をお迎えし、帰宅
- 19:00 夕食準備、子供と夕食
- 20:30 子供と入浴
- 21:30 子供の寝かしつけ
- 22:30 家事(食器洗い、洗濯等)、翌日準備、夫帰宅
- 23:30 就寝

女性職員のメッセージ

誰でも悩む時はあると思うので、話せる人やお手本になる先輩を見付けることで乗り越えていけると思います。また、私は雑誌の手抜き例を見て救われたので、これでもいいんだという例を見付けることもお勧めです。

Model 02

内閣府
賞勲局審査官付栄典専門職



おちあい ともこ
落合 智子
Tomoko Ochiai

Profile

- 平成19年・内閣府入府(Ⅱ種(行政区分)採用)
賞勲局係員
勲章等の授与の審査業務
- 平成22年・大臣官房人事課係員
業務説明会、面接試験等の採用に係る業務
- 平成23年・文部科学省初等中等教育局特別支援教育課係員
医療的ケアを必要とする幼児児童生徒に対する支援業務
- 平成25年・内閣官房内閣総務官室主査
閣議の運営に関する業務
- 平成27年・内閣府賞勲局審査官付栄典専門職
～現在 勲章等の授与の審査業務
- 平成28年・～結婚

何事にも

内閣府の仕事

私は、結婚・出産後も定年まで働き続けたいという気持ちから、転居を伴う異動が少ない内閣府へ入府しました。また、内閣府は、「国政上重要な政策に関する企画立案・総合調整」及び「内閣総理大臣が直接担当することがふさわしい業務」の主に二つの役割を担っているため、経済財政政策、科学技術政策、地方創生、防災、男女共同参画など注目度の高い業務に携わる機会が多いほか、栄典、政府広報など内閣府ならではの業務に携わることができることも魅力でした。

現在、私は賞勲局に在籍し、栄典に関する業務を担当しています。栄典とは、国家・公共に対し功労のある方や社会の各分野における優れた行いのある方などに、勲章や褒章を授与し、表彰するものです。我が国の栄典制度は、長い歴史と伝統を有し、その授与は、憲法において天皇の国事行為に位置付けられています。例えば、ボランティアや人命救助など金銭では評価できないような功績に対して栄誉を称えたり、少子高齢社会を支える保育士、介護職員等の国全体の利益のために重視すべき分野で御活躍されている方々に対して積極的に栄誉を称えたり、褒めるという行為で光を当てています。

具体的な業務としては、各府省から推薦される候補者に対して、功績に応じた勲章等が授与されるよう審査を行っています。各府省から推薦された候補者を審査しながら、社会が様々な方の御活躍により成り立っていることを実感しています。自分に馴染みのない分野における功績を審査することに、正直難しさを感じることもありますが、栄典の重みを感じつつ、受章者はもちろん国民から広く支持される栄典のため、適切な審査を心掛けています。

挑戦する勇気！

内閣官房内閣総務官室での経験

入府7年目で、内閣官房へ出向しました。内閣官房は、内閣と官邸を直接支える組織であり、官邸の動きを間近に感じながら、国の最前線の業務に携わることができます。私は、内閣官房にある内閣総務官室に在籍し、主に、内閣が意思決定を行う場である閣議が円滑に行われるための業務を担当していました。閣議決定する文書を扱うため、緊張感を伴う業務が多かったですが、内閣府以外の施策を知ることができたり、組閣・内閣改造や内閣として大きな判断が下される過程を間近で見ることができたり、非常にやりがいを感じる貴重な経験をさせていただきました。内閣総務官室には、内閣府職員が多く出向しているため、ここでも内閣府職員ならではの経験ができたと思っています。

今後の目標

私は平成28年3月に結婚しましたが、定年まで働き続けたいという入府当初からの気持ちは、今でも変わっていません。休日でも仕事のことを考えてしまうほど、目の前の仕事にいっぱいいいいな時期もありましたが、勤続年数とともに経験も増えて、仕事に対する向き合い方の変化に、自分なりの成長を感じることもできました。これからは、様々なライフイベントを通じて、人間としての幅を広げることができれば自分自身に期待しています。仕事以外での活動や人とのつながりから、様々

な立場に立つことができますし、これまで考えも及ばなかったことに気付くことができるかもしれません。何事にも挑戦する勇気を持ち続けて、得た知識や経験を、女性活躍、少子化対策、男女共同参画等、多岐にわたる分野を担当する内閣府において、活かすことができるようになりたいと考えています。



一日のタイムスケジュール例

- 6:30 起床、朝食・お弁当作り
- 8:30 出勤、新聞チェック
- 9:30 始業、メールチェック、スケジュール確認
- 10:00 午後からのヒアリングの準備(上司と問題点を共有)
- 12:00 昼食
- 13:00 ヒアリング
- 15:00 ヒアリングで出た課題の整理
- 16:00 協議書類の審査
- 18:15 定時退庁
- 19:30 ヨガ
- 21:30 帰宅、夕食、入浴
- 23:30 就寝

女性職員のメッセージ

体調が悪かったり、御家庭の事情を抱えていたり、毎日みんなが仕事に全力投球できるコンディションとは限らないため、自分自身も周りへの気遣いを忘れず、日頃から信頼し合える関係を築いていければと思っています。

Model 03

財務省
大阪税関関西空港税関支署旅具通関部門
監視官



おつど ゆか
乙度 由佳
Yuka Otsudo

Profile

- 平成17年・財務省大阪税関入関(II種(行政区分)採用)
関西空港税関支署取締部門統括監視官付
関西空港に入出港する航空機に出入りする人やモノの取締り
- 平成19年・監視部管理課係員
監視部の職員に対する管理事務
- 平成20年・監視部取締通関部門統括監視官付
大阪港に入出港する貿易船に出入りする人やモノの取締り
- 平成22年・東京税関監視部検査5部門統括監視官付
SP貨物(航空小口急送貨物)の検査(貨物に社会悪物品等が隠匿されていないかどうか)
- 平成24年・大阪税関総務部総務課総務第1係主任
大阪税関の職員の安全管理
- 平成26年・関西空港税関支署特別通関第3部門審査官
SP貨物(航空小口急送貨物)の通関審査及び検査、生鮮貨物の通関審査及び検査
- 平成28年・関西空港税関支署旅具通関部門監視官
～現在 関西空港に入国する旅客の荷物の検査

女性税関

税関の仕事

税関の仕事は大きく分けて二つあります。まず「税」である関税等の適切な徴収と、「関」である海外から持ち込まれる覚醒剤等の不正薬物を含む社会悪物品を水際でせき止める関的役割です。私は入関してから大半を「関」である取締りに関係する部署で勤務してきました。

入関当初は関西空港で航空機に出入りする人やモノに対する取締りを行い、その後大阪港で船に出入りする人やモノに対する取締りを行いました。

東京税関への出向

6年目に東京税関に出向し、航空小口急送貨物に社会悪物品が隠匿されていないかを検査する部署で勤務することになりました。これまで水際取締りをする部署で勤務しながら、これらを目にする機会はほとんどなかったのですが、異動後すぐに不正薬物が貨物に隠匿されている現場に遭遇し、「絶対に水際で阻止する」という強い意識とこの仕事に対する使命を改めて感じました。その後も覚醒剤や大麻、コカイン等の不正薬物を多種多様な方法で隠匿し密輸するのを阻止する現場で経験を積み、それは今の私にとって大きな財産となっています。

出向で得た財産はそれだけではありません。もう一つは人とのつながりです。私は仕事をする上で人とのつながりが大切であると考えています。実際、大阪では人とつながることで仕事を円滑に進めてきました。東京への出向はそのつながりのない場所へ飛び込むことであり、当初不安でいっぱいだったのですが、東京の職場でも皆さんが温かく迎えてくださり、新しい人とのつながりを作ることができました。東京を離れて5年が経ちましたが、今でもそのつながりは切れることなく私にとっての大きな財産となっています。

職員として

関西空港での当直勤務

現在は関西空港の旅具通関部門で海外から入国する旅客等の手荷物の検査を行っています。関西空港は24時間空港であり、昼夜関係なく航空機が入港し旅客が入国するので、職員は交替勤務で24時間対応しています。

女性旅客に対する身辺検査等においては、当然女性職員が対応する必要がありますので、女性職員が必須の職場でもあります。

そこで私が現在も含め当直勤務で苦労を感じるのは、体調管理です。当直勤務の中で5時間ほどの仮眠時間があります。とはいえ、その仮眠時間は着替えてシャワーを浴び、寝る準備をし、また起きて化粧等身支度をするまでの時間なので、実際に寝ている時間は5時間もありません。また24時間旅客が入国するので仮眠時間をずらして深夜に起床して働く勤務もあります。当直勤務を終えた後は家で夜まで熟睡・・・したいところですが、夜まで寝てしまうと今度は夜眠れなくなり、次の日はまた寝不足という悪循環とならないよう、私なりに休日の仮眠時間を決めたり、体力づくりに適度な運動をしたりと体調管理には気を付けています。また、長時間労働が続くと精神的にも疲弊してくるので、休憩時には職場の先輩や後輩たちとの束の間のおしゃべりを楽しんだり、ちょっとお菓子をつまんだりして息抜きするようにしています。

近年、訪日外国人が増えたこともあり、空港や海港に出入りする人が増加しています。残念ながら

その中には密輸を企てる者もいますし、密輸する者に男女の区別はありません。女性である自分にしかできない役割があるからこそ、これからも女性税関職員として頑張っていきたいと思います。



一日のタイムスケジュール例

- 5:30 起床、身支度、お弁当作り(当直なので2食分)
- 8:00 出勤、制服に着替え、業務前にメール等の確認
- 8:45 業務前ミーティング
- 9:00 入国検査場内にて入国旅客の手荷物検査業務
- 12:30 昼食(おしゃべりを楽しみながら息抜き)
- 13:45 入国検査場内にて入国旅客の手荷物検査業務
- 17:30 夕食(おしゃべりを楽しみながら息抜き)
- 18:30 入国検査場内にて入国旅客の手荷物検査業務
- 翌1:00 シャワーを浴び、着替えて仮眠
- 翌5:00頃 起床、航空機の入港時間をチェックしながら身支度
- 翌6:00 入国検査場内にて入国旅客の手荷物検査業務
- 翌9:00 業務終了

女性職員のメッセージ

今は男女関係なく転勤やステップアップ等、働く上でいろいろな転機が訪れます。その際に悩むことも多いかもしれませんが、前向きに捉えて前進していけばきっと良い経験になると思います。

Model 04

厚生労働省
東京労働局品川労働基準監督署
第2方面主任監督官



つねよし えみ
恒吉 恵美
Emi Tsuneyoshi

Profile

- 平成10年・厚生労働省大阪労働局入局(労働基準監督官採用)
大阪中央労働基準監督署(方面)
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成13年・東京労働局新宿労働基準監督署(方面)
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成18年・渋谷労働基準監督署(方面)
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成19年・～長女出産
育児休業(約1年7か月)
- 平成21年・三田労働基準監督署(方面)
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成22年・～長男出産
育児休業(約8か月)
- 平成25年・大田労働基準監督署第4方面主任監督官
最低賃金関係業務及び管理業務
- 平成26年・三田労働基準監督署第4方面主任監督官
3次産業労働条件確保・改善関係業務及び管理業務
- 平成28年・品川労働基準監督署第2方面主任監督官
労働安全衛生業務及び管理業務

※経歴一部省略

子供の頑張りを力

仕事と子育ての両立

私は、最初に大阪中央労働基準監督署に赴任して以降、労働基準監督官として、労働基準法等に基づき事業主に対する監督・指導業務を担当してきました。

東京へ異動し数年経ち、一人目を妊娠しました。妊娠中は、都心の混み合う通勤電車を避けるために、通勤時間をずらす措置を取らせてもらいました。初めての子供で、少しでも多く関わりを持ちたいと思い、当初は子供が3歳になるまで育児休業を取得しようと考えていましたが、保育園の入園事情も考慮し、実際には育児休業は約1年半取得しました。

育児休業からの復帰の際には、幸い、認可外でしたが保育園に入園できました。その後は、育児時間を1日につき最大の2時間取得しながらの勤務となりましたが、上司や先輩の協力を得ながら何とか仕事と子育てを両立することができました。

職務復帰してから約1年経ち、二人目を妊娠しました。一人目と同じ保育園へ入園させるには、二人目は0歳児から入園させるのがベストと考え、育児休業を1年弱取得した後、再度職場へ復帰しました。

幸い、子供二人は同じ保育園に入園できました。子供が一人の時に比べ、二人になると、その時間は単に2倍ではなく、10倍くらいに感じました。子供が発熱した場合などは、基本的には私が仕事を調整するようにしていましたが、主人はもちろん、お互いの両親にも大いに助けてもらい、日々を過ごしました。

仕事の取り組み方

育児休業中は子育て中心の生活ではありませんでしたが、法改正等があったので、新聞をよく読んで、同僚から情報収集をしたり、復帰後なるべくスムーズに業務を再開できるよう心掛けました。

に、日々チャレンジを

業務からしばらく離れていたため、復帰直後は上司や先輩に迷惑を掛けることもありましたが、仕事はなるべく前倒しで、効率よく行うよう努め、自分のできる範囲の仕事を日々精一杯やってきました。また、子供の発熱等による急な休暇取得に備え、処理中の事案についての外部からの問合せに他の職員が対応できるようにするため、書類を分かりやすく整理することにも気を配りました。

昇任後のやりがい

労働基準監督署の主任になり部下を持つようになりました。時間が限られているので、積極的に部下とコミュニケーションを取るようになっていきました。また、主任として担当分野を持つようになり、企画立案から実行に至るまでのマネジメントを確実に行うリーダーとしての役割を任されるようになりました。広い視野で行政の取組を考える必要が生じ、これまでとは違ったやりがいを感じるようになりました。

子供たちと一緒に

上の子の就学に当たり、夫婦二人で対応することが難しくなってくるだろうと考え、私の実家のごく近所に引っ越ししました。

上の子は小学生、下の子は年長になり、徐々に子育てが落ち着いてきて、勤務時間を延ばせるようになったため、現在では育児時間を1日30分だ

け取得して勤務しています。それでも、保育園の送迎に加え、学校行事やPTA活動など、活動の幅も広がってきましたので、これからも、職場の理解や周りの協力を得ながら、仕事と子育ての両立を続けていければと思っています。何より頑張っているのは子供たちです。子供たちと一緒に私も頑張っていこうと思います。



一日のタイムスケジュール例

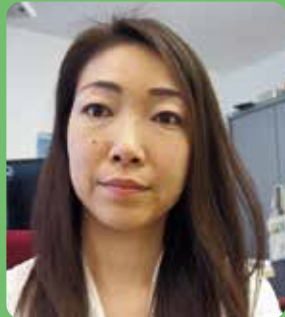
- 6:00 起床、身支度
- 7:00 家族皆で朝食
- 7:45 小学生の送り出しがてら出勤、保育園児の保育園送りは夫と交代で
- 9:00 勤務
- 17:15~30 退勤
- 18:30 保育園にお迎え
- 18:50 保育園児を連れて帰宅
すぐさま夕食準備
- 19:00過ぎ 子供たちと夕食
- 19:30以降 子供たちを入浴させる
小学生の宿題や時間割を確認
- 21:00以降 子供たちを就寝させる

女性職員のメッセージ

公務員は、仕事と育児を両立しやすい環境にあると思いますが、子供の頑張りがあってこそ、自分が仕事を続けられるということを忘れてはいけないと思います。

Model 05

経済産業省(外務省出向中)
経済協力開発機構(OECD)
環境局環境健康安全課ナノテクノロジー担当



むねかね てるみ
宗兼 彰美
Terumi Muneane

Profile

- 平成16年・経済産業省入省(II種(化学区分)採用)
産業技術環境局研究開発課総括係員
総括業務
- 平成17年・通商政策局通商機構部・経済連携課
WTO及びEPA交渉の関税担当
- 平成19年・製造産業局化学物質管理課国際係長
化学物質管理に関する国際条約等の担当
- 平成22年・留学(パリ政治学院)
欧州関係学専攻
- 平成24年・経済産業省資源エネルギー庁国際課地域
協力推進一係長
APECや豪州等とのエネルギー協力の推進
- 平成26年・製造産業局化学物質管理課国際係長
化学物質管理に関する国際条約等の担当
- 平成27年・経済協力開発機構(OECD)環境局環境健
康安全課ナノテクノロジー担当
工業用ナノ材料の安全性評価に関する国際
協力の促進
 - ～出産
産前・産後休暇(4か月)
- ～現在・経済協力開発機構(OECD)環境局環境健
康安全課ナノテクノロジー担当
工業用ナノ材料の安全性評価に関する国際
協力の促進

海外で育児

現在とこれまでの仕事

私は現在、フランスのパリにある経済協力開発機構(OECD)事務局に勤務しています。OECDは「より良い暮らしのためのより良い政策」に向けて、様々な分野における加盟国の共通課題を解決するために、加盟国間の情報交換を促すとともに、政策提言等を行う国際機関です。その取り扱う分野は、経済、開発、貿易だけでなく、教育、雇用、環境など多岐にわたり、「世界最大のシンクタンク」と呼ばれることもあります。

その中で私は、環境局環境健康安全課という部署に所属しており、ナノ材料の安全性に関する国際協力を進めています。日々の業務は、多様な国籍の同僚に囲まれ、35の加盟国やその他関係国、産業界等からの意見を踏まえ、電話会議なども活用しながら文書を取りまとめ、定期的に会議を開催し、合意された文書を発表していくという作業です。様々な国の関係者との調整は、お国柄もさることながら、個人の個性によるところが大きいので、国籍にとらわれることなく、誠実に、明確に対応することを心掛けています。使用言語は英語で、国境を越えた調整という点こそ違いますが、具体的作業は霞が関での業務プロセスに通ずるところがあると思います。科学的に専門的な議論になる時などは力不足を感じることもありますが、周りの方々に助けられながら充実した日々を過ごしています。

入省当時は自分が国際機関で働くようになるとは夢にも思いませんでした。入省して最初の配属先は省内の研究開発プロジェクトを総合調整する部署でしたが、その後は、WTO、EPA交渉、化学物質管理における国際協力、資源エネルギー分野における国際協力と、国際分野における業務を中心に担当してきました。また、フランスに2年間留学する機会もいただき、こうした国際的な経験を積

をしながら

む中で、海外勤務を志すようになり、それを今回実現する機会をいただき嬉しく思います。日々の業務において的確な判断、指示を出してくれる上司や、キャリアパスについて親身になって相談に乗ってくれる先輩など、周りの方々にも恵まれ、こうした出会いがあって初めて現在の私があるのだと感じています。

育児と仕事

これまでの職務経験の中で、女性であることを理由に損をしたり得をしたりした経験はありません。任せられる仕事にも性別は関係なく、体力的にきつい時もありましたが、男女平等の職場だと思います。

今回の海外赴任においては、赴任後に約4か月の産休を取得し、復帰後は子連れ単身赴任となりました。日本にいてもパートナーが激務だったり親が遠方だったり、家族の協力が得られない中で働く女性も多くいると思いますので、自分が特別大変だと感じたことはありません。むしろ、課員の半分以上がワーキングマザーで、当日中の緊急案件もなく、残業もほとんどないという、非常に恵まれた職場環境で働かせてもらっています。

日々の生活は育児中心で、家事は本当に手抜きですが、そんな中でも、いつもと違うちょっと

フランスっぽい料理を作ってみるとか、部屋を少し片付けて花を飾るとか、本当にささいなことが心にゆとりをもたらすことを覚え、一日一日を丁寧に過ごすことを楽しんでいます。

仕事でもプライベートでも思い通りにいかないことも多いですが、それを思いがけない機会と捉えて、楽しむ余裕を持っていきたいと思っています。



一日の タイムスケジュール例

- 6:30 起床
- 7:00 朝食
- 8:00 保育園へ預ける
- 8:30 出勤
- 17:30 退庁
- 18:00 保育園へお迎え
- 18:30 帰宅
- 19:00 子供の夕食、お風呂、寝かしつけ
- 20:30 夕食
- 23:00 就寝



女性職員のメッセージ

出産・育児に限らず、それぞれ事情を抱えていると思いますが、環境を理由に可能性を自ら手で閉ざしてしまうのはもったいないと思います。各人で異なるワークスタイルの「最適なカタチ」を追求していきましょう!

Model 06

環境省
中部地方環境事務所長野自然環境事務所
野生生物課希少生物係長



さわの あゆみ
澤野 歩美
Ayumi Sawano

Profile

- 平成15年・環境省入省(II種(農学区分)採用)
自然環境局北関東地区自然保護事務所
国立公園科係員兼湯元自然保護官
自然公園法許認可業務、自然ふれあい業務
- 平成17年・自然環境局国立公園課事業係係員
自然公園許認可業務、公園計画における事業決定関連業務
- 平成18年・釧路湿原自然保護官事務所自然保護官
自然再生事業普及啓発業務、公園計画点検業務、自然公園法許認可業務、自然ふれあい業務
- 平成22年・～長男出産
産前・産後休暇、育児休業(11か月)
- 平成23年・新宿御苑管理事務所温室科主査兼菊科係員
施設管理、普及啓発事業、契約・物品購入
- 平成25年・～長女出産
産前・産後休暇、育児休業(9か月)
- 平成26年・中部地方環境事務所長野自然環境事務所
野生生物課希少生物係長
鳥獣保護管理法関連業務、ニホンジカ対策業務

育児で気付

仕事をする上での心掛け

いつ子供が熱を出すか分からないので、明日は出勤できないかもしれない覚悟で仕事をしています。以前より、作業の優先順位を考えるようになりました。慌ただしい毎日ですが、精神的には出産後の方が楽になりました。混沌とした育児の時間から理路整然とした仕事の時間に移るとほっとします。仕事に行く喜びを毎朝感じています。また、忙しく仕事をしていても定時になればお迎えとなり、帰宅後は仕事のことを悩む暇がありません。育児と仕事の両方に取り組むことで、精神的なバランスが取れていると感じます。

キャリアアップについて

今は仕事を継続することに重点を置いており昇任は考えていませんが、仕事の質は、年相応に高まるよう努力しないといけないと考えています。

しかし、育児により定時外の出張や休日出勤が困難になりました。関係者と連携をとりながら仕事を進めるにはこうした業務が必要なこともあり、出産前は思うままに対応できていたので、今はもどかしい思いです。宿泊を伴う研修への参加も困難になりました。オンライン研修などを積極的に受けるように心掛けていますが、職員として必要な研修時間は足りないと感じます。

働き方の工夫

数年ごとの転勤が前提となる職場なので、復帰は2回とも異動先でした。異動先では子供の保育園を見付け、慣らし保育期間に対応する必要があります。1回目の復帰は、私と入れ替わりで夫が育児を取得しました。2回目の復帰は、転勤の1か月後にすることで乗り切りました。復帰後は、子供が発熱するとまず私が休暇を取り、長引く時は夫婦で半日ずつ休暇を取ることで業務が滞ることを減らすようにしています。

く大切なこと

お迎えの時間に合わせるため、休憩時間の変更と早出遅出勤務の制度を活用した時期もあります。2つの制度を組み合わせると、勤務時間を短縮しなくても、退庁時間を45分早めることが可能になりました。ファミリーサポート制度を活用し、お迎えをお願いしたこともあります。ただ、こうした制度の活用は、職場の理解と協力のみならず、子供の適応能力も求められると思います。うちの場合、ファミリーサポート制度に頼れるのはお迎えまでで、その後の預かりまでは頼めませんでした。ここで無理をすると、子供の気持ちが落ち着くまで何日も要し、生活が荒れてしまうことが予想されました。

転勤で生きる夫婦の役割分担

夫は同業なので、共働きで生活が成り立つように、転勤に当たっては職場、住居、保育園の位置関係と、発達障害のある長男の療育施設の確認は重要です。今後は長男が入学するので、学校の場所、特別支援学級や放課後支援施設の確保も必要になり、更に大変になりそうです。

夫は将来を考えることが好きで、私は今の行動が大切というように、夫婦の性格は全然違います。日常では子供にまわりつかけながら家事をする私の横で夫はネット検索をしていたりして、私はイライラすることもあります。しかし、あらかじめ複数の転勤候補地について必要な情報が収集されていて、人事面談の時には具体的な相談

ができるのは夫のおかげです。

支えてくれる人の大切さ

最後に、仕事と子育てを両立させるために重要なことは、相談できる人がいることだと思います。私は、保育園や療育施設の先生方、子育て中の同僚などに何度も救われてきました。話を聞いてもらうだけで心が軽くなり、具体的なアドバイスのおかげで問題を乗り越えることができています。子育てにより多くの人に支えられていることを実感し、学ぶことが多いです。こうした経験は、仕事にも生きてくると思います。



一日のタイムスケジュール例

- 5:30 起床、朝食作り、子供の相手
- 7:45 登園、出勤
- 8:30 始業
- 12:00～13:00 余力があれば帰宅して家事
- 17:15 退庁、お迎え
- 17:40 帰宅、夕食作り、子供の相手
- 19:30 入浴、家事、登園準備等
- 21:30 子供の就寝、自分も一緒に寝る
- 22:00以降 余力があれば家事、雑用、ネット閲覧等。起きられずに朝まで寝る日も多い。

女性職員のメッセージ

仕事と子育ての両立を社会が応援してくれる時代で、支援制度が日々充実していくのを感じます。子育て中は業務内容や勤務時間が制約されますが、それでも自分は社会に必要とされていると自信を持っていきたいですね。

Model 07

人事院
人事課能率厚生管理室共済係長



まつだ しょうこ
松田 翔子
Shoko Matsuda

Profile

- 平成11年・人事院採用(II種(行政区分))
管理局総務課広報室
広報の業務
- 平成13年・四国事務局
国家公務員試験・職員研修の実施、勤務時間制度等の照会対応等の業務
- 平成17年・給与局給与第二課
民間企業の役員報酬調査等を担当
- 平成18年・外務省中東アフリカ局アフリカ第一課
アフリカ外交、国際会議実施等に係る業務
- 平成21年・人事院国家公務員倫理審査会事務局倫理審査専門官(参事官付)
国家公務員倫理法令の違反事案調査に係る業務
- 平成23年・派遣行政官短期在外研究員(英国)
現地大学にインターン研究員として所属し、英国省庁を訪問調査
- 人事院給与局生涯設計課所得専門官
再任用制度、退職給付調査に係る業務、課内総務業務
- 平成25年・給与局給与第一課調査第一班主査
職種別民間給与実態調査の実施業務
- 平成27年・人事課能率厚生管理室共済係長
人事院内の共済業務
- 平成28年・～長男出産
～現在 育児休業

様々な経験をさせ

初めての異動で地方へ転勤

採用後2年間霞が関の本院で勤務した後、初めての異動で人事院の四国事務局に転勤しました。生まれ育った東京近郊とは異なる地域で暮らしてみたいという思いがあり、自ら希望しての地方異動でした。仕事面ではまだまだ未熟な部分が多く、周囲に多大な御迷惑をお掛けしながらの勤務だったように思いますが、これまでと違う環境が非常に新鮮で、とても楽しく過ごさせてもらいました。

東京へ戻る

しかし、もともと本院採用であり、自分のキャリア上の選択肢をもう少しいろいろ探してみたいという気持ちも捨てきれず、4年後に本院へ戻りました。その後、他省庁への出向等を含め、多様な業務内容を経験させてもらい、様々なパターンで仕事の進め方を学んだり、自分の甘さに気付かせてもらうなどして、徐々に成長してきた(多少はましになってきた?)気がします。体力的に厳しい時期や、自分の力量不足に悩んで辞めようかと思った時もありましたが、辛かった時ほど結果的に得たものが大きかったという実感は、現在でも自分の支えになっています。

外務省出向中に周りの職員と話をしていくうちに、もし機会があれば自分も海外に滞在してみたいと思うようになりました。その後、運良く行政官

てくれた職場に感謝

短期在外研究員制度で英国に半年間派遣してもらうことができ、短期間ではありますが、外から日本を見ることができたのは非常に貴重な経験となりました。

本院で採用されたにもかかわらず外に出ていた期間の方が長くなってしまった上、専門性と呼べるものも身に付いていないことに引け目を感じたこともあります。今はいろいろなポストに「行ける時に行っておいて良かった」と思います。それぞれの職場で、バックグラウンドの異なる大切な友人たちができたことは生涯の宝です。様々なことにチャレンジさせてくれた職場、応援してくれた上司や先輩、同僚には本当に感謝しています。

育児休業中の現在

30代後半で結婚し、現在は育児休業中です。妊娠中は切迫流産になって突然数週間出勤できなくなり、つわりの辛さと職場への申し訳なさで消えてしまいたいような気持ちになったことも。終始温か

く支えてくださった職場の皆さんへの感謝は言葉では言い表せません。初めての妊娠出産、子育てに当たっては、知らなかったことばかりで、昔の自分を恥ずかしく思うこともしばしば……。休業中は、できるだけ機会を見つけて職場の同僚と会うようにしたり、職場に挨拶に行ったりしているほか、人事課から定期的に送られてくる資料やメールマガジンが職場の雰囲気を知る大切な手掛かりとなっています。また、先日は育休取得者を対象とした内閣人事局主催の研修にも参加し、復帰後の具体的なイメージをするきっかけとなりとても有意義でした。



女性職員のメッセージ

女性だからこそもらえるチャンスがたくさんある時代だと思います。自分がやりたいと思ったことにはどんどんチャレンジしてみてください。

Model 08

宮内庁
書陵部図書課図書寮文庫第二図書調査室
主任研究官



いけわだ ゆき
池和田 有紀
Yuki Ikewada

Profile

- 平成12年・宮内庁入庁(選考採用)
書陵部図書課図書調査室室員
古文書・古記録などの古典籍類の調査、翻刻、研究に関する業務
- 平成18年・～結婚
- 平成22年・～長女出産
産前・産後休暇、育児休業(1年)
- 平成23年・書陵部図書課図書寮文庫第二図書調査室主任研究官
古文書・古記録などの古典籍類の調査、翻刻、研究及び展示並びにウェブ公開・展示に関する業務
- ～夫育児休業(1年)
- 平成24年・～長男出産
産前・産後休暇、育児休業(3年)
- 平成27年・書陵部図書課図書寮文庫第二図書調査室主任研究官
古文書・古記録などの古典籍類の調査、翻刻、研究及び展示並びにウェブ公開・展示に関する業務
- ～現在

情熱と謙虚

研究職の仕事

宮内庁書陵部は、皇室伝来品を中心とする古文書や古典籍類、明治以降の公文書類、陵墓等から出土した考古資料などを収蔵・管理している部署で、その収蔵品は45万点以上に及びます。

私の所属する図書課図書調査室の仕事は、未整理の資料の内容を調査し明らかにすること、中でも特に歴史的価値の高いものに関しては翻刻出版することです。また、貴重な資料群の永久保存に努めながら、収蔵品のウェブ上での公開や、必要に応じて美術館・博物館への貸出業務などにも携わっています。いずれも我が国の歴史や文学、美術といった文化の根幹に関わる仕事で、とてもやりがいを感じています。

これまで私は大学・大学院において史学を専攻し、日本中世史を専門にしてきました。そもそも人文社会学系の学問とは、人間とは何か、を問うものであり、自らも様々な経験を通して社会と関わっていききたいと思い続けており、その一つに出産・育児がありました。もちろん、それが研究や仕事のスキルアップに直接寄与するわけではありませんが、人間の営みへの好奇心という点では、同じところに根ざしていると認識しています。

子供との生活

実際に育児に直面してみると、想像以上の大変さが待っていました。これまで自分の納得がいくまで思う存分に仕事や研究に専念していた生活から一転、子供を経済面・生活面で物質的に支えていなくてはならないと同時に、その子の精神的支柱としても生きなければならない。とても大袈裟なようですが、私自身これまでとは生きる意味が変化したと感じています。

多くの働く親が実感しているように、子育てに関しては、決して人任せにできない部分が少な

さを失わず

らずあります。掃除や洗濯など、家電機器を使いこなすことで、ある程度負担が軽減される家事がある一方、例えば食事は外食やお総菜ばかり、生活の面倒は保育園・学童・シッターサービスに一切お任せというわけにはいきません。大人のように割り切れない幼児にとって、親が直接関わってやらなければならない部分がたくさんあるのです。

しかし、自身の仕事のクオリティや、身体的・精神的な健康状態も一定レベルを維持せねばならず、仕事にせよ子供との生活にせよ、どこをどのように手厚くするのか、あるいは手を抜くとすればどの部分なのか、模索する日々は育児7年目となっても続いています。

今では長女も小学1年生となり、生活面ではだいぶ手がかからなくなってきましたが、義務教育という社会の入口において、相応の学力が身に付いているか、対人関係はどうかなど、新たな局面を迎えて、まだまだ「親の目配り」が必要だと感じています。

制度を活用して

職場の理解もあり、産前後休、育休、育児時間等、可能な限り制度を活用させていただいています。当初は利用することにためらいもありましたが、むしろそのような制度がなかった時代に苦労して仕事をしながら子育てをされてきた先輩職員の方々から、制度を上手に活用すべき!と背中を

押されました。有り難いことに、「昔は育休なんてなかった。今の人は恵まれている」などと言われたことは一度もありませんでした。

今後、就労しながらの出産・育児を検討している方に対し、自らの選択を一つのサンプルとして提示させていただくことが、そうした先輩方から頂いた数々の御配慮への恩返しだと思っています。



一日のタイムスケジュール例

- 5:00 起床、身支度、お弁当作り
- 6:30 朝食準備・長男(年少)登園準備
- 6:55 電車通学の長女(小1)を駅まで送り、一旦帰宅、朝食
- 7:40 出勤(長男の送りは夫)
- 8:30 始業
- 15:30 退庁(育児時間2時間)
- 16:30 長男迎え(幼稚園延長保育)
- 17:00 帰宅、長女学童保育より帰宅
子供の宿題・習い事のおさらいをチェック
- 18:00 夕食準備、入浴、夕食
- 20:00 読み聞かせ、寝かしつけ
- 21:00 掃除、洗濯、食器片付け、子供の持ち物チェックなど家事全般
- 23:00 就寝

女性職員のメッセージ

制度を利用する上で、周囲に迷惑を掛ける、自分のスキルやポジションが無くなるのではないかなど数えきれない不安がありますが、休業は一時と割り切って、それでも仕事に対する情熱だけは失わず、復帰後は、常に謙虚な姿勢でバリバリ楽しく職務に邁進しましょう。

Model 09

公正取引委員会
経済取引局取引部取引企画課
消費税転嫁対策調査官主査



あいざわ ひろえ
相澤 央枝
Hiroe Aizawa

Profile

- 平成18年・公正取引委員会事務総局入局（経験者採用）
審査局第一審査審査専門官
独占禁止法に係る審査業務等
- 平成22年・経済取引局取引部企業取引課下請取引調査
室下請取引検査官
下請法に係る相談、申告対応業務
- 平成23年・経済取引局取引部企業取引課下請取引調査
室下請取引検査官主査
下請法に係る調査業務等
- ・中部事務所下請課長
下請法に係る調査業務等
- 平成25年・経済取引局取引部企業取引課下請取引調査
室下請取引検査官主査
下請法に係る調査業務等
- ・～出産
産前・産後休暇、育児休業（1年）
- 平成28年・経済取引局取引部取引企画課消費税転嫁
対策調査官主査
～現在
消費税転嫁対策特別措置法に係る調査業務等

時には肩の力を

一途な一生懸命から自然体へ

公正取引委員会の中途採用への応募は、民間企業での勤務において、委員会の仕事を知ったことからでした。入局の辞令交付の際の嬉しくも身の引き締まる思いは、昨日のここのようです。

最初に配属された審査局は、独占禁止法に係る審査業務を行う部署です。男社会の慣れない業務で不安な中、女性の先輩・同僚から声を掛けていただきホッと、その御活躍に勇気をもらいました。また、この時期の上司や先輩からの厳しくも暖かい御指導が、その後の公務員人生の基礎になっていると感謝しております。その後は、産休まで、下請法に係る業務に携わりました。

振り返ってみると、辞令を頂く度に、自分に勤まるかと不安でしたが、大丈夫と判断されて配属されたのだと言い聞かせ、ひたすら一生懸命やってきたように思います。当初、生活は仕事一色で、その裏返し、深く落ち込んだりすることもよくありました。ようやく気分転換の大切さに気が付き、趣味でダンスを始めてからは、生活にもメリハリができました。一旦仕事を離れることで新たな視点で見ることができ、次第に周りを見る余裕もできてきたように思います。

生活のペースが出来上がった中で子供を授かった時は、不安だらけでした。そんな時、同僚の「おしめの取替えぐらいならお手伝いしますよ。」という言葉で、ふっと気持ちが必要になり、もっと周りを頼っていいのだ、もっと肩の力を抜いて、自然体でいいのだと思えるようになりました。

また、体に無理が利かなくなったこともあり、自分の仕事は何かや、仕事と生活のバランスを考えるようになったのもこの頃のように思います。

抜いて、自然体で

仕事と育児の両立

復帰後の所属は、御配慮から古巣となりました。そのため、何となく楽観していたのですが、育児と仕事の両立は思いのほか大変でした。仕事面では、これまで以上に業務の優先順位を考え、一層効率化を図るようにしていたのですが、生活面は、全てが未知の世界で、夜中に起きて家事をしたりしてどうにかやりくりをしていました。

そんな時、同僚の何気ない「全部独りでやっているの？」という一言で、ようやく、抱え込んで疲れていたように感じていたことに気が付きました。その日、夫に保育園への送りをお願いしたところ、肩の荷が下りたようでホッと、生活面でも抱え込まないことが大切と大いに反省しました。もちろん最初は、相手もお手伝い気分なこともあり、頼んだことはしてもらえず、しないでとお願いしたことだけしてくれるというコメディ状態でしたが、今では何とか役割分担もできてきたように思います。

最近では、子供が成長して楽になった反面、自己主張が出てきて、今までとは違った大変さも出てきました。これからもいろいろとあると思いますが、周囲に感謝しながら、肩の力を抜いて、自然体でその時々柔軟に対応していけたらと思っています。

最後に

振り返ってみて、改めていつも上司、先輩、同僚に支えられ、その暖かい御指導、御助言により、少しずつ成長し、やってこれていることに、感謝するばかりです。

また、身近な方から他省庁の方まで、女性職員の皆さんの御活躍を目にしながら、いつも元気や勇気をいただいております。私自身は、まだまだ発展途上ですが、少しでもお役に立てるよう、皆様と一緒にこれからも頑張っていきたいと思います。



一日の タイムスケジュール例

- 5:00 起床、朝食作り、洗濯、ゴミ出し等
- 8:30 登庁
- 10:35 室内打合せ
- 11:30 班内打合せ
- 12:00 昼食
- 13:00 他課との打合せ
- 13:30 担当との事案打合せ
- 17:15 退庁
- 18:10 保育園のお迎え、夕食等
- 21:00 就寝（子供と）

女性職員のメッセージ

仕事を続けていく上では、女性特有の「壁」がいくつもあると思います。そんな時は、どうしても一生懸命になりがちですが、周囲の支援に感謝しつつ、肩の力を抜いて、自然体で自分らしく乗り越えていきたいですね。

Model 10

警察庁
新潟県警察本部刑事部捜査第二課長



ふじもり けいこ
藤森 敬子
Keiko Fujimori

Profile

- 平成17年・警察庁入庁(1種(法律区分)採用)
- 平成18年・警備局外事情報部外事課係長
外事警察に係る制度・施策の企画立案
- 平成20年・英国留学
犯罪学、国際安全保障論の修士号取得
- 平成22年・警察庁生活安全局生活安全企画課係長
警備業、古物営業法等に係る制度・施策の企画立案
- 平成23年・～長男出産、長女出産
産前・産後休暇、育児休業(約2年)
- 平成25年・生活安全局地域課課長補佐
地域警察に係る制度・施策の企画立案
- 平成27年・新潟県警察本部刑事部捜査第二課長
～現在 贈収賄や特殊詐欺の事件捜査指揮

子連れでの

入庁してからこれまで

平成17年の入庁から早10年が経ちましたが、その間、警察庁の外事課では、外国機関との情報交換に携わったり、交番を始めとする地域警察の運営に関する企画立案に当たったり、様々な経験をしてきました。また、イギリスに2年間の留学をさせてもらうこともできました。いずれの職場においても、女性であることを特別に意識することではなく、治安という観点から国民生活を支えていることにやりがいを感じながら仕事をするのができたと思います。現在は、警察庁から新潟県警察に出向し、捜査第二課長として約50人の捜査員とともに、贈収賄事件や振り込め詐欺事件等の捜査に当たっています。新潟県全体の知能犯捜査を統括する立場での仕事に責任を感じる一方で、これまでの経験に勝るとも劣らない充実感や達成感を覚える毎日ですが、これまでの仕事とは勝手が違うところもあります。それは、二人の子供を連れての地方赴任であるということです。

新潟県での勤務・育児

私にとって新潟県警察での勤務は子供を連れての初めての地方勤務であり、いろいろと不安がありました。特に、赴任先や赴任時期を事前に予想することはできないことから、子供の預け先をあらかじめ確保することは難しいと考え、同じ国家公務員である夫の育児休業の取得を検討しました。早めに相談したところ、幸いにも職場の快い理解が得られたため、地方勤務の内示が出た場合には夫が育児休業を取得して対応することに決め、実際8か月間の育休を取得してもらいました。ですが、夫も職場復帰しなければならないため、その後

地方勤務

のことも視野に入れて新潟市内での保育園探しを内示を受けた直後から行いました。年度の切り替わりのタイミングは保育園にも入りやすいため、夫の育児休業の期間を年度末までとし、保育園への入園申請をしたところ、無事に希望する保育園へ入ることができました。幸運だったと思います。現在、保育園では午後7時まで預かってくれるため、通常は時間までに迎えに行っていますが、どうしても仕事の関係で7時までに迎えに行けない場合や、休日出勤しなければならぬ場合には、送迎を含めて夜間・休日に対応してくれる別の保育施設に預けながら、毎日を乗り切っています。

終わりに

仕事と育児の両立は大変ではないと言えば嘘になりますし、現時点でも両立できているとはいい難いですが、そもそも仕事は充実しているし、思うような成果が出ない時も、家に帰って育児や家事に集中していると半ば強制的に気持ちが切り替わり、とても良いリフレッシュになっていると感じています。仕事で手を抜くことはしませんが、時間の制約がある中で家事を含めて生活の全てに完璧を求めるのはとても大変ですし、どこかでひずみが生じてしまうように思います。そこで、私は、家事・育児に関して自分のこだわりたいところ

にはこだわりつつも、そうでないところについては適度に肩の力を抜いて対応するようにしています。子供に寂しい思いをさせているとの申し訳なさには常に私の心にありますが、上司・同僚や家族に支えてもらいながら大切な仕事に正面から向き合っている母親の姿を見せることは、子供たちに何らかのプラスの影響を与えることができるのではないかと信じて、職務に邁進しています。



一日のタイムスケジュール例

- 6:00 起床
- 8:00 保育園へ預ける
- 8:30 始業
- 9:00 事件検討
- 12:00 昼食
- 13:00 警察署へ督励
- 17:15 終業
- 18:00 保育園へお迎え
- 19:00 夕食
- 20:00 入浴、寝かしつけ、家事
- 23:30 就寝



女性職員のメッセージ

目の前のことに一生懸命取り組みれば道は開けてくると思いますし、苦勞したからこそ味わえる喜びや楽しみもあると思います。私自身、そのように考えながら、仕事と育児の両立を目指して頑張っています。

Model 11

金融庁(外務省出向中)
経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部
一等書記官



ながやま れな
永山 玲奈
Rena Nagayama

Profile

- 平成15年・金融庁入庁(1種(法律区分)採用)
監督局総務課係員
不良債権問題への対応
- 平成16年・監督局銀行第一課係員
メガバンクの監督
- 平成17年・米国留学(ロースクール)
米国の金融規制等を専攻
- 平成19年・金融庁総務企画局国際室係長
サブプライムローン問題、国際的な金融危機への対応
- 平成21年・財務省大臣官房政策金融課課長補佐
日本航空の経営問題、東日本大震災への対応、政策金融の在り方の検討
- 平成24年・金融庁監督局銀行第一課課長補佐
外資系銀行の監督
- 平成25年・総務企画局総務課兼政策課
採用・人事、NISA等の税制改正要望
- 平成27年・～出産
産前・産後休暇、育児休業(1年)
- 平成28年・経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部
一等書記官
OECDにおける金融関係の会議への対応

海外での

日本政府の代表として

私は平成28年夏から、パリにある経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部で勤務しています。ここでは、OECDで開催される各種の金融関係の会議に日本政府の代表として出席し、日本のスタンスを説明したり、日本の取組を紹介したりして、OECDの活動に参画しています。また、OECDの政策提言や調査分析を日本にフィードバックする役割も担っています。会議シーズンは毎週会議が立て込み、忙しくなりますが、国際的な課題に対し、各国が知恵を出し合って、望ましい政策の在り方を模索する過程はとても建設的で、日本としても有意義な貢献をしたいという思いで準備に当たっています。

海外での仕事復帰

パリに赴任する直前は、前年の春に長男を出産して以降、産休・育休をいただいていた。そうした中、夫(他省庁勤務)のパリ転勤が決まり、私は育休の延長や配偶者同行休業の取得も検討し、人事に状況を伝えていたところ、幸運にも現在のポストをオファーいただきました。1年数か月ぶりの仕事復帰がいきなり海外ということで、当然不安はありましたが、ブランクが長期間に及ぶのは避けたかったこと、海外での勤務経験も積みたかったこと、そして、夫も「是非受けたらいい」と背中を押してくれたこともあり、懸念の保育の確保については目途が立っていませんでしたが、まずはオファーを受ける決断をしました。

その後、現地の保育サービスをいろいろ探しましたが、日本にいながら、信頼できる保育園とシッターをあらかじめ確保することは現実的に困難

両立生活

だったため、翌年春までのつなぎ措置として、親戚に住み込みのシッターとして同行してもらうことにしました。我が家にとっても、同行する親戚にとっても大きな決断でしたが、今は4人で楽しく暮らしており、私としては、家事のサポートまで得られ、とても助かっています。私自身も限られた時間で効率的に業務を行い、できる限り早く退庁し、会議資料の読み込みなど、家でもできることは、子供を寝かしつけた後にやるなどして、子供との時間を確保するようにしています。

決断後に何とか環境を整える形にはなりましたが、こうして貴重な業務経験を重ねつつ、子供とも今まで以上に新鮮な気持ちで楽しく向き合うことができており、思い切ってこのポストをお受けして良かったと思っています。

走りながら考える

思えば官庁訪問をしていた頃も、将来的な育児と仕事の両立に漠然と大きな不安を感じながら、その時になったら考えようと思切りの発車でこの道に進んだ覚えがあります。もちろん事前に策を講じられれば安心ですが、それがないと進めないようでは、余りに多くのチャンスを逃してしまいます。まずは進んでみて、走りながら考えれば、何とか道が開けることもあると思います。私自身、まだ「両立」生活の新米で、これから異動の度に様々な

やり繰りを重ねていくことになるのだと思います。時には何かを諦めることも必要になるかもしれませんが、それでも多くの育児職員が余り慎重になりすぎず、一步を踏み出し続ければ、自分の状況だけでなく、職場の環境や働き方も変わり、より多くの人にとって働きやすい環境が整ってくるのではないかと期待しています。これから私も多くの困難に直面すると思いますが、周囲の理解・協力への感謝を忘れず、前向きに挑戦していけたらと思います。



一日のタイムスケジュール例

- 6:30 起床、子供のお弁当作り
- 7:30 子供と朝食
- 9:30 OECDの会議に出席(日本の取組を紹介)
- ~13:00
- 13:00 他国の会議出席者と会食
- 15:00 会議録、面談録の作成
- 18:00 日本からの照会への対応
- 19:00 退庁
- 19:30 帰宅、夕食
- 21:00 子供の寝かしつけ
- 22:00 会議出席の準備
- 0:00 就寝

女性職員のメッセージ

育児などで制約のある職員が、仕事でも諦めずに最大限の貢献を追求していくことは、霞が関の働き方改革にもつながると思います。より多くの人々がそれぞれの状況に応じて活躍できる職場にしていきたいですね。

Model 12

総務省
政策統括官(統計基準担当)
国際標準分類専門官



たなか るみ
田中 留美
Rumi Tanaka

Profile

- 平成9年・総務庁入庁(Ⅱ種(行政区分)採用)
関東管区行政監察局
行政監察・行政相談業務
- 平成10年・神奈川県行政監察事務所行政相談課
神奈川県内における行政相談業務
- 平成16年・総務省行政評価局評価監視調査官
少子化対策、年金問題等の政策評価、
行政評価・監視
- 平成17年・人事院短期在外研究員(アメリカ)
連邦政府機関GAOにおいて、政策評価制度等の調査・研究
- 平成20年・総務省行政管理局企画調整課行政手続・
制度調査室調査研究係長
行政不服審査法の法令改正
- 平成21年・行政管理局主査
外務省・防衛省の機構定員査定
- 平成23年・政策統括官(統計基準担当)統計専門職
国際統計業務
- 平成26年・政策統括官(統計基準担当)統計専門官
統計調査の審査業務
- 平成27年・～長男出産
育児休業(1年)
- 平成28年・政策統括官(統計基準担当)国際標準分類
～現在
専門官
標準統計分類の改正

※経歴一部省略

トライアル&

始めに

私の入省当時は、まだ女性職員は少なく、また、超過勤務を前提とした働き方が主流であった時代でした。そのため、将来的に家庭を持った場合の働き方に不安を感じることもあり、「自由が利く若いうちに何でもチャレンジしておこう。」と、入省後は可能な限り幅広い業務に取り組んできました。

二つの大きな節目

入省約10年後に一つ目の節目がやってきました。それは、人事院短期在外研究員としての米国派遣です。日本政府職員の身分を記した名刺一枚携えて、政府機関等にアポを入れ、拙い英語でインタビューを行い日米比較研究に取り組みました。ここで得た知識はいつしか古びたものになりますが、調査ノウハウや現地の人から受けた支援の有り難さは深く心に刻まれており、これらは10年以上経った今でも折に触れて思い出し、働く上でのヒントやモチベーションになっています。

二つ目の節目はその2年後、業務の特殊性ゆえ男性職員で占められる機構・定員査定業務への配属です。動きの速い政治動向を横目に、相手省庁と信頼関係を築きつつも機構・定員の管理を厳格に行うハードで緊張を強いられる日々でしたが、組織や人の成り立ちを通じて、国会、予算、法令等の勉強もできた貴重な経験になりました。

これらはいずれも、総務庁(当時)地域採用のⅡ種女性職員として初めて巡ってきた機会でした。未知の領域に踏み込むのはプレッシャーですし、何より失敗が怖い。でも、「見る前に跳ぼう。」と前向きにチャレンジしてきました。実際に業務に就いた後は、勤務環境などに配慮をいただきつつも、性別に関係なく厳しく指導をしてくれる多くの上司に恵まれ、そこで得た知識や経験は今の私の財産となっています。

エラーでいこう

母となって

約1年の育児休業を経て復帰した現在は、公的統計の拠り所となる統計基準の企画・立案を担う部署に所属しています。勤務形態は、通常より2時間短い育児短時間勤務。さらに、立場的に班内の総括というマルチタスクが求められます。ですので、立ち止まって熟慮したいことがあっても、効率的に班として成果を挙げることを優先に部下に仕事を割り振っていかねばなりません。また、育児に関しても、我が子の世話は自分でいろいろと手を掛けてやりたいと思っても、圧倒的に時間が足りない。復帰当初は、理想の自分と現実のギャップに戸惑い、仕事も育児も手を抜き、職場や家族にしわ寄せがいくことを甘受しなければ両立はあり得ないのか、と悩みました。しかし、両立生活をこなす中で、①仕事は部下に思い切ってざっくりと任せても大丈夫。むしろ良いアイデアが出てくる、②家事や育児は、信頼のおけるベビーシッターや家事代行を利用することで、より高品質なサービスが提供される、と気づきました。自分のこだわりは、広い目で見れば、何かに決定的な影響を及ぼすほどのものではないということなのでしよう。

同時に夫と実家の協力も大切です。我が家の場合、夫は忙しく帰りが遅いので、夕方以降の子供の世話は頼れませんが、毎朝の送り届けは担当してくれており、とても助かっています。今後、子供の成長や仕事の繁閑に合わせて、無理のないよう家事

育児を分担し、仕事を持つ親であるからこそ分けることを子供に伝えていきたいと思っています。

悶々と仕事を引きずりながら保育園へお迎えに行っても、一目散に駆け寄ってくる子供の笑顔を見た瞬間に全てリセットされます。そんなパワーを子供からもらいながら、試行錯誤を繰り返しつつ、自分の力を発揮できるような着地点を希望を持って探ってみたいです。



一日の タイムスケジュール例

- 6:00 起床、朝食、身支度等
- 8:20 自宅出発(夫が子供を保育園へ)
- 9:30 登庁
- 10:00 室内勉強会
- 12:00 お弁当又は職員食堂で昼食
- 13:00 労働経済分野の大学教授へ
ヒアリング(都内大学へ)
- 14:30 調査研究について、シンクタンク
と電話打合せ
- 15:30 全体スケジュールの調整
- 16:45 退庁
- 17:45 保育園から子供をピックアップ
- 18:00 帰宅
- 18:30 子供と夕食、入浴、寝かしつけ
- 21:30 洗濯、翌日の食事準備、片付け
- 23:30 自分の時間、仕事(持ち帰った場合)
- 1:00 就寝

女性職員のメッセージ

「女性だから。」と心に蓋をせず、女性ならではの強くてしなやかなパワーを信じて、いろいろなことにチャレンジしてみるといいと思います。性別や経験の有無は、案外関係ない、開けた世界が待っているものです。

Model 13

農林水産省
近畿農政局経営・事業支援部
地域食品課長



よしだ えみこ
吉田 恵美子
Emiko Yoshida

Profile

- 昭和53年・農林水産省入省(初級採用)
食品流通局砂糖課
特殊法人管理事務、庶務事務等
- 昭和59年・～長男出産
- 昭和61年・～長女出産
- 昭和62年・～二男出産
- 平成4年・食品流通局野菜振興課流通第2係長
野菜及び野菜加工品の輸出入等流通に関する業務
- 平成7年・食品流通局消費経済課消費企画係長
食料品消費モニター調査等関係業務
- 平成15年・総合食料局消費生活課企画運営係長
「消費者の部屋」の企画運営に関する業務
- 平成16年・総合食料局食品産業振興課飲料係長
飲料に関する業界対応
- 平成18年・東北農政局消費生活課課長補佐(総務・消費経済)
食の安全に関する知識の普及啓発、消費者相談業務等
- 平成20年・生産局園芸課生産専門官
園芸に関する統計、表彰、調整等業務
- 平成23年・関東農政局消費生活課食育情報専門官
食育に関するイベント企画立案等業務
- 平成26年・消費・安全局消費者情報官付食育推進指導官
食育関係補助事業等に関する業務
- 平成27年・近畿農政局経営・事業支援部地域食品課長
食育及び地産地消の推進、地理的表示等知的財産の保護・活用等の業務

※経歴一部省略

育児休業のない時

結婚・出産・子育ての時期

女性でも一生働き続けられる職場として公務員を選択、係員の頃に結婚・出産を終え、当時は育児休業もない時代でしたので、首の据わらない子供を保育園に預け、当たり前のように働き続けました。朝は遅出の夫が保育園に子供を送り届け、迎えは早出早帰りの私が担当。正に今のフレックスタイムと同じです。

長男は熱がこもりやすい体質で、毎週のように保育園から呼び出しがあり、熱を出した子供を真ん中にして夫とどちらが休むかを決め、はやり病などの際は午前と午後を交代で休んで乗り切るなど、夫の協力がなくてはとても仕事を続けられない状態でした。

職場に大きなパソコンが1台しかない時代にノートパソコンを購入し、同僚に習いながら操作を覚え、子供を寝かせつけてから明け方まで持ち帰り仕事をこなすこともありました。ちょうど係長になる頃に遠方に引っ越したため、保育ママ制度を利用して二重保育をお願いするなど、子供にも負担を掛けてしまいました。子供も夫もよく頑張ってくれたと感謝でいっぱいです。

小学校に入ると迎えもなくなり、年齢的にも責任が重くなり、徐々に残業も増えました。小学生の子供たちだけを家で待たせてしまうような生活の中、ここでも夫の協力を得ながら綱渡りで働いてきました。

それぞれの職場で 様々な仕事を経験

食料流通局野菜振興課(当時)では、輸入野菜が増えた頃の輸出入担当係長ということで、国別品目別の輸出入統計を分析、データ処理の面白さを経験し、後に担当した食料品消費モニター調査の取りまとめにも役立ちました。総合食料局食品産

代を二人三脚で乗り越えて

業振興課(当時)では「飲料」という品目の係長ということで、清涼飲料水やコーヒーなどの業界対応があり、総会などに幹部に出席いただくための段取りなども初めてのことで、他の品目係長と相談しながら仕事を覚え、中でも一番楽しく仕事ができた部署は、「消費者の部屋」特別展示の企画運営業務でした。特別展示の担当原課のお世話と「消費者の部屋」に掛かってくる相談電話や来客対応、訪問に来てくれた小中学生の対応などが非常に励みになり、当時はここで専門官になりたいと思ったものでした。

初めての転勤生活と 管理職になった今思うこと

下の子が18歳になった時期に転勤の話があり、初めての単身赴任を仙台で経験。既に上の子たちも家を出ており、夫も自分のことは自分でできるので何の心配もなく家を出ることができました。100%自分の時間、残業するのも自分の時間であることを改めて実感。難しい仕事を担当した時期でもありましたが、できないと思ったら休日出勤してゆっくりじっくり取り組んでみる、少しでも片付けておくとう月曜日からの仕事もうまくいくということを実感しました。現在2度目の単身赴任を経験し、管理職になった今、特に思うことは、「介護を担っていない」ということです。夫や自分の兄弟姉妹の理解があった上で、自由に働かせてもらっているんだ

なあと、つくづく感じています。単身赴任は誰でもできる環境にあるわけではなく、“家族の健康と理解”があって初めてできることであり、これは男女ともに言えることだと思います。振り返ってみれば、髪を振り乱して働いていた子育て時代も、上司を始め周りの方の理解があったからこそ乗り越えられたことであり、今も昔も働き続けるためには人間関係が一番大切なことであり、言いたいことが言える、助け合える職場であることが一番だと思っています。



一日の タイムスケジュール例

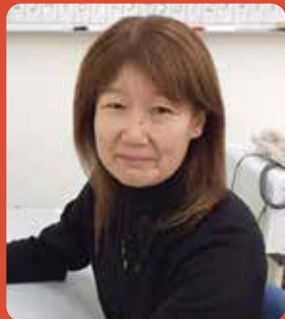
- 5:45 起床、朝食、TV体操
- 8:15 登庁、メール及びスケジュール確認
- 8:30 業務開始
- 日中 課内打合せ、個別案件決裁、幹部説明等
- 17:30 退庁
- 18:30 帰宅、夕食
- 20:00 習い事(音楽関係)
- 21:15 帰宅、入浴、洗濯、TV、読書等
- 23:00 就寝

女性職員のメッセージ

出産・子育てには周りの方の理解が必要ですが、過ぎてしまえば本当に大変だったのは数年のことと思います。気兼ねせず、堂々と産み育て、安心して働き続けてほしいです。

Model 14

国土交通省
札幌航空交通管制部
次席航空管制官



さ か い あ き こ
坂井 彰子
Akiko Sakai

Profile

- 平成4年・航空保安大学校入校
 - 国土交通省那覇航空交通管制部航空管制官
航空管制業務
- 平成6年・～結婚
- 平成8年・～長男出産
 - 産前・産後休暇、育児休業(約10か月)
- 平成10年・札幌航空交通管制部航空管制官
航空管制業務
- 平成13年・～次男出産
 - 産前・産後休暇、育児休業(約7か月)
- 平成19年・岩沼研修センター管制科教官
管制官の教育訓練業務
- 平成23年・航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課航空交渉調査官
航空協定に基づく二国間協議開催や、各国航空企業の本邦乗り入れに関する業務等
- 平成26年・札幌航空交通管制部次席航空管制官
～現在 航空管制統括業務

仕事も家族も

管制官として 母としてもスタート

航空管制官として最初に着任したのは那覇航空交通管制部。現場の厳しさを実感し、訓練に苦労したのは当然、生活面でも、今でこそ全国区になっている沖縄料理、風土とも独特なものがあり印象深いところです。24時間官署で輪番勤務の特権で、平日や昼間に自由な時間を楽しんでいたものの、長男が生まれた後は、とにかくバタバタでした。夜勤前には急いで夕食を食べさせお風呂に入れて職場まで連れて行き、駐車場で勤務終わりの夫に子供を渡して出勤、という、綱渡りのような生活でした。子供が熱を出したりするとあっという間にこの綱から落ちてしまう訳で、毎日ヒヤヒヤしていました。

その後札幌航空交通管制部に異動。ここでは、管制事務室の運用や訓練といった仕事も経験することができました。基本的には日勤という勤務形態になったので、長男と向き合う時間を取れるようになりました。運用班での業務では米軍の空域使用に関しての調整をしたことや、2000年に有珠山が噴火した時には噴煙の影響を受ける航空路の代替経路を設定したことが印象に残っています。この時カウンターパートだった米軍の担当者とは子供の話をきっかけにして随分親しくなり、何度もお会いして話をする中でそれまで難しかった調整もスムーズに実施でき、直接会って話をすることの重要性を認識しました。この時の経験からも、メールや電話で済む事でもなるべく相手に直接会って話すことを心掛けています。その後次男が生まれ育児休業を半年取るのですが、赤ちゃんとの生活を楽しむ半面、それまでの業務にやりがいを感じ、早く復帰したいとの気持ちも大きかった時でした。

家族が離れていく頃

次男が3歳の時、夫が那覇に異動になり母子3人生活が始まりました。地元の友人たちにも助けられながら夫不在にも慣れた頃、私も宮城県航空保安大学校岩沼研修センターに教官として異動することになりました。管制官のスキルアップに必要な航空路レーダー研修や、職場での人間関係に関

私のスタイルで

するTRM(Team Resource Management)といった研修に関わりました。より良い研修のためには何をしなければならぬかと、管制業務とは異なる面白さを見い出せた職場でした。教育機関のため緊急で出勤することもなく、週末には子供たちと蔵王や石巻といった観光地に出掛けたり、東京に異動していた夫も頻繁に来てくれるようになったりして、離れていながらも家族の時間を楽しんだ思い出があります。宮城では長男の進学や今後の転職を考えて、学力だけは私立で鍛えてもらいたい、と私立中高一貫校に行かせていたのですが、いざ、航空局への異動で東京に引っ越すことになった時、寄宿舎に入って仙台に残る宣言をさせてしまい、どこにでも付いて来てくれるだろう、という親の思惑は見事に外れてしまいました。

初めての行政職

航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課(当時国際航空課)では航空交渉室の調査官として、二国間の航空当局間協議や航空権益の確認、新規路線の開設といった業務に携わりました。航空企業の路線開設や増便は雑誌や新聞にも取り上げられやすく目に見える成果があったこともあり、やりがいを実感できる職場でした。着任してすぐは、管制官時代のように即座に判断して結果を出そうとして失敗することの繰り返しで、根回ししたり周囲のタイミングを読んだりする生活に慣れなくて、いい歳をして涙が出そうな毎日でした。管制官出身の先輩から、「自分一人で早く決断しようとしなくて周囲の意見をちゃんと聞いて時間を掛けるのが大事」という話を聞き、そのとおりに進めるように心掛けていたら他課の知り合いも相談先も増え、何となく回っていくようになっていま

した。海外出張も多いところでしたが、次男はそれも母の仕事として理解してくれ、寂しがることなく送り出してくれました。単に、お土産が楽しかったのかもしれませんが、学校では、「お母さんは飛行機の仕事をしていますすごいんだ」と先生にも話していたようで、それを聞いた私の方が赤面してしまいがちながらも、ちゃんと理解してくれていると嬉しかったです。

現在は、札幌航空交通管制部で次席航空管制官として勤務しています。次席の業務は同じチームの管制官が働きやすいよう環境を整えること。自分の子供たちが小さかった時に、育児の大変さを周囲に理解してもらって嬉しかった体験を、これからは自分が積極的に示していかなければと思っています。要員事情も厳しくなっており難しい面もありますが、今までの様々な経験も生かしなが、周囲に気を配っていただけたらいいなと考えて日々過ごしています。



一日の タイムスケジュール例

(輪番勤務のうちの1日)

7:00	起床
10:30	出勤、メールや連絡事項確認
13:00	業務前の引継ぎ、ブリーフィング
14:00	管制室での業務開始
21:00	夜勤のクルーに交替、デブリーフィング
21:15	退庁
21:50	帰宅
22:00	家族と電話やメールしながら夕食
0:00	就寝

女性職員へのメッセージ

どうせ自分なんて、と思わないで何事にも貪欲に。振り返れば、子供がいるから諦めたことはもちろんいくつかはありましたが、その他には何ができるか、したいかを考えたら幅が広がると思います。

Model 15

防衛省
陸上自衛隊小平学校人事教育部
事務官等管理教官室教官



せき かずみ
関 和実
Kazumi Seki

Profile

- 昭和63年・防衛庁入庁(III種採用)
陸上自衛隊施設補給処電計課補給処システムのプログラム係
補給システムのプログラム設計業務
- 平成元年・陸上自衛隊古河駐屯地業務隊厚生科共済班出納係、貯金係
共済組合業務
- 平成4年・陸上幕僚監部監理部総務課広報室資料係
総務(庶務、文書)業務
- 平成8年・自衛隊新潟地方連絡部総務課庶務係
総務(庶務、文書)業務
- 平成10年・陸上自衛隊人事統計隊兼陸上幕僚監部人事支援業務課総括班庶務係
総務(庶務、文書)業務
- 平成12年・航空自衛隊第4術科学校総務課文書係
総務(文書、印刷製本)業務
- 平成14年・陸上自衛隊施設学校総務部厚生課共済班貯金係長、短期経理主任
共済組合業務
- 平成17年・陸上幕僚監部装備部需品課需品班庁用備品専門官
予算業務
- 平成19年・陸上自衛隊中央情報隊本部第3科情報公開専門官
情報公開対応業務
- 平成22年・自衛隊青森地方協力本部総務課国民保護災害対策連絡調整官、会計係長
総務、会計業務
- 平成25年・陸上自衛隊航空学校宇都宮校会計課給与班長
会計(給与)業務
- 平成28年～現在・陸上自衛隊小平学校人事教育部事務官等管理教官室教官
単身赴任解消

様々な出会

自衛隊の学校

自衛隊には自衛官のみならず事務官等が職務遂行上、必要な技能や知識を身に付けるため教育を受けられる学校がたくさんあります。その中でも陸上自衛隊小平学校は、陸上自衛隊で唯一、事務官等の管理職要員の育成を担当する学校です。私は現在小平学校人事教育部事務官等管理教官室で、年間300人を超える事務官等の教育に教官として携わっています。

現職に就くまで、様々な駐屯地等で様々な業務を経験しましたが、教育を受ける学生に向き合っていると、今までの経験全てが教官という現職に役立っていると感じています。また、日頃の勉強不足、教官としての力不足を痛感しつつ、他の教官の方々に助けられている現状に、感謝しても感謝し足りない思いです。

職域拡大

入庁した当初は、総務(庶務)業務が長く、仕事のいろはを教えてくださいました。特に陸上幕僚監部(陸上自衛隊の隊務に関する防衛大臣の幕僚機関)の広報室に勤務した平成4年は、陸上自衛隊が初めての国際協力業務に従事することになり、当時の防衛庁記者クラブに所属する記者の方が入れ代わり立ち代わり取材に来る状況に刺激を受けました。

また、入庁して10年を超えた頃の上司に、「私は結婚しても仕事を辞めるつもりはなく、定年まで働くために、総務業務以外に職域を広げたい」と相談し、航空自衛隊で物品管理業務に就けると喜び勇んで赴任した先で総務(文書)業務担当と言われがっかりしたこともありましたが、赴任時期が情報公開法の施行時期と重なり、文書規則改正や教育等、文書業務について基礎からしっかり学べたこと、この時の女性上司は私を娘のように可愛がってくださり、現在もお付き合いをさせてい

いに感謝

ただく等、何物にも代え難い経験をさせていただきました。

その後、私が職域を広げたいと相談した上司から予算業務を経験させたいと声を掛けていただき、陸上幕僚監部で予算担当として勤務させていただく機会を得ました。予算業務は専門用語が多く分からないことばかりで、上司を始め諸先輩方は私を育てるため、さぞかし御苦労されたことと感謝の念に堪えません。また、沢山の方の御指導、御協力があったからこそ、連日深夜に及ぶ勤務ができた2年間でした。この間は、組織から学ぶことばかりで、戦力にはならなかったと思いますが、この経験を、現職において後輩に伝えていければと思っています。

夫との同居

今年4月の転勤で単身赴任を解消し、結婚後初めて本格的に夫と同居を始めました。自衛官の夫は私の仕事に理解があり、自分のことは自分でできるため、私は恵まれた環境で仕事をさせていただいております。また、教官業務は残業で帰宅が遅くなることもありますが、家事は夫婦で分担し、時間のある方ができる事をするようにしています。

転勤の楽しみ

自衛隊は、女性でも全国各地に転動します。2年から3年という限られた赴任期間中、休日等を利用して観光地を巡り、その土地ならではのグルメを堪能する。それが、私の転勤の楽しみです。雪道で

の通勤に苦労したこともあります。今では良い思い出です。

特に青森へ赴任した3年間は、夫が仙台に勤務していたこともあり、東北6県を観光しました。入庁から30年近く経った今でも訪れた事のない所はまだあります。次の転勤でどこに行けるか楽しみです。

終わりに

目の前の仕事を丁寧にやり、それでも時には手に負えなくなり、沢山の方々に御迷惑をお掛けしたこともあります。ほんの少しのチャレンジ精神と、楽しむ気持ち、そして様々な人との出会いが今の私を作ってくれていると感謝しております。



一日のタイムスケジュール例

- 5:00 起床
- 7:00 出勤
- 7:20 登庁
- 8:25 授業
- 12:00 昼休み
- 13:00 教育の調整、授業準備等
- 19:00 退庁
- 19:30 帰宅
- 21:00 夕食(金曜日は夫と夕食)、家事
- 23:00 入浴(半身浴で読書)
- 0:00 就寝

女性職員のメッセージ

女性だからと特別に考える必要はありません。でも、女性だからこそ気付くことがあることも事実です。今任されている職務には自分にしかできない役割が必ずあるはず。自然体でいきましょう。

Model 16

会計検査院
第1局財務検査第1課決算監理室
決算専門官



たじま
田島 ひとみ
Hitomi Tajima

Profile

- 平成4年・会計検査院入庁(Ⅱ種(行政区分)採用)
第5局通商産業検査課事務官
現在の経済産業省等に対する検査業務
- 平成7年・第5局電気通信検査課事務官
NTT等に対する検査業務
- 平成9年・行政官国内研究員(横浜国立大学大学院)
- 平成11年・第5局電気通信検査課調査官
NTT等に対する検査業務
- ～結婚
- 平成12年・第1局大蔵検査課調査官
現在の財務省等に対する検査業務
- 平成16年・～長女出産
育児休業(1年9か月)
- 平成20年・～次女出産
育児休業(2年8か月)
- 平成23年・第1局外務検査課調査官
外務省等に対する検査業務
- ～次女小学校入学まで育児時間取得
- 第1局財務検査第1課決算監理室調査官
財務省等に対する検査業務
- 平成27年・第1局財務検査第1課決算監理室決算専門官
～現在
財務省等に対する検査業務

※経歴一部省略

為せば成る、為さ

会計検査院の仕事について

業務内容を端的に説明することは難しいので、長年行っている検査に対する基本的な姿勢を御紹介します。アプローチの仕方は、人により、また状況により様々なので、あくまでも一例であることをお断りします。

● 事前準備

検査に先立ち、担当の事案に何らかの疑問点、不明点がある場合、法令、文献等で理解に努めます。準備不足のまま検査に臨むと、基本的なことを理解するだけで時間切れとなり、肝心なことを聞けなくなります。そのため、十分に準備をして、検査の間ではそこでしか得られない情報を把握することに集中したいのですが、なかなか思いどおりいきません。

● 実地検査

問題となりそうな場合、客観的証拠、データ等を集め、指摘の根拠を固めます。根拠が弱いと相手方との議論の俎上にのせられないし、内部での説明にも苦慮するため、十分に行う必要があります。

● 取りまとめ

報告、相手方との折衝、院内審議の準備等、どの段階においても、完璧を求めるとキリがないことを実感します。また、やっていることが無意味だと時間の無駄となる(相手方の時間も浪費させてしまう)ばかりか、自分の存在そのものが税金の無駄遣いとなるので、常にプレッシャーを感じています。

家庭との両立について

私の場合やむなく残業となるのは、ほとんどの場合、会議等の外的要因ではなく、納得できる程度まで作業や理解が進まないことが原因です。不十分なままだと、どの段階においても成果が出ないし、不安を抱え続けることになってしまうからです。幸い実母に定期的に自宅へ来てもらっている

ねば成らぬ何事も！

ので、なるべくその日にハードルの高い業務を行ったり、地方出張に出たりしています。基本は時間内に業務を終わらせますが、制約のない日はあともう少しというところで切り上げなくても良いので、結果的に効率的になっており、体力的、精神的に余裕を持つことができています。

育児休業中は子供と一緒に過ごせる喜びは何ものにも代え難いと思う一方、ほぼ毎日面倒な事の繰り返しのため、正直途中で飽きてしまいました。家事に集中する気にならず、かといって自己研鑽に励む気にもなれず、モヤッとした気分で過ごすこともありました。今は、仕事と家事・育児をバランス良くこなせればと思いますが、現実には、どちらも中途半端であると思い悩むことが多いです。ただ、両者は内容や質が全く異なるため、相互に気分転換となっている面があることは確かです。私にとって、育児休業中は期間が限定されているからこそ、より大きな幸福感を得られたと感じていますが、子供たちにとってどうだったかは不明です。良かったのか悪かったのか、また、今が良いのか悪いのか、判断がつかません。しかし、過去も現在も自分なりに精一杯力を尽くしているので、これでいいのだと思っています。楽観的で、甘いとみられるかもしれませんが、自身で(恐らく家族も)納得していることなので、内外の評価は余りにしないようにしています。その時その時、可能な限りの力を尽くせば結果は付いてくると信じ、日々の困難に立ち向かっていくしかありません。

会計検査院の仕事は、性別・年齢等に関係なく、各人に過度の負担が掛からぬよう配慮されていますし、私個人の質・量の限界値などさほどではないはずですが、傍から見ると許容量を超えているように思われるらしく、時々、上司や同僚から「無理しないで」といった言葉を掛けられます。このような温かい職場環境に感謝しつつ、周囲から多くの信頼を得られるような働きができるよう、日々努力していきたいと考えています。



一日のタイムスケジュール例

- 5:30 起床、お弁当、朝食作り
- 7:20 出勤(地下鉄乗車中は、CNBLUE、Maroon5等の音楽鑑賞)
- 8:30 始業
- 17:15 退庁(帰りの電車では、頭の切替え&クールダウンのため、いろんなジャンルの本を読む)、途中スーパーで買い物
- 18:30 帰宅後、夕食作り(子供たちは入浴)
- 19:30 アルコール少々と共に夕食
- 20:00 片付けながら、学校の配布物や宿題を確認し、子供たちに勉強、ピアノ練習を促す。
- 21:30 入浴、洗濯、テレビ、読書等
- 23:30 就寝

女性職員のメッセージ

入庁直後、ある上司から言われた「急がずゆっくりね」をそのままメッセージとします。当時は少し肩透かしをされた気になりましたが、今は長期戦の覚悟を持つべしという意味が込められていたことを実感しています。

Model 17

内閣官房
内閣人事局内閣参事官
(給与・退職手当担当)



ゆふ わかこ
由布 和嘉子
Wakako Yufu

Profile

- 平成6年・総理府入府(1種(法律区分)採用)
内閣官房内閣内政審議室
重要政策の総合調整
- 平成8年・文部省生涯学習局学習情報課
教育の情報化に関する企画立案
- 平成10年・総理府男女共同参画室主査
男女共同参画社会基本法の制定、省庁再
編準備
- 平成12年・総務庁行政管理局主査
情報公開制度の施行関係業務
- 平成14年・内閣府賞勲局総務課課長補佐
栄典制度改革対応
- 平成17年・内閣官房内閣総務官室参事官補佐
閣議の運営
- 平成20年・～長男出産
産前・産後休暇、育児休業(1年)
- 平成24年・内閣府共生社会政策担当企画官
少子化対応施策に係る企画立案
- 平成26年・内閣府賞勲局審査官
栄典の授与に係る審査、栄典の授与方針
の見直しに係る企画立案
- 平成28年・内閣官房内閣人事局内閣参事官(給与・
～現在 退職手当担当)
国家公務員の給与・退職手当担当

※経歴一部省略

自分

これまでを振り返って

行政官になって、いつの間にか20年以上が経ちました。始めのうちは、霞が関全体にワクバラマインドは皆無の中、物理的にも大量の業務を何とかこなす日々でしたが、いくつかのポストを経て、立場も上がっていくにつれ、自分が見渡せる範囲も次第に広がってきて、また、自分が手掛けた仕事の手応えを感じられるようになりました。

約2年に1度の異動の度に仕事の内容は大きく変わるものの、自分の体験(時には失敗経験)を通じて、いろいろなポストに共通して役立つような、自分の拠り所となる強みや、自分の仕事のスタイルが蓄積されていったように思います。

また、時には、着任当初は必ずしもピンとこなかった仕事に携わっていくうちに、その仕事の面白さややりがいを見出し、自分のライフワークの一つとなることもあれば、あまり面白さが見出せずにただただ辛く大変だった仕事の経験が、数年後に、自分にとって貴重な財産となっていることに気付くこともありました。

育児との関係

計1年の産休・育休を経た後、周囲に育児時間や育児短時間勤務を使っている方がいなかったこともあり、余り深く考えずに、フルタイムで復職しました。あえて22時まで開園の保育園を選んで万全を期したつもりでしたが、子供の生活リズムの問題や帰宅後の子供のケアが大変すぎて、早々に方針転換をし、週5日(つまり毎日)シッターさんにお迎えをお願いすることにしました。子供の立場からすると、初対面のシッターさんと保育園で初めて会い、その方とともに家に帰り、親の帰宅を待つという日々でした。時には「あれ、しばらく寝顔し

なりに

か見ないうちに大きくなったな。」なんていうこともありました。病気の時は病児保育にお世話になり、平日は毎日保育園で夕食をとっていました。あまり褒められた育児ではないのかもしれませんが、「大きくなったら大きくなったで別の悩みが出てくるよ」「育児は決して短いものではないよ」という諸先輩のアドバイスもあり、また、頑張り過ぎて無理しては続かないと思ったので、自分にとってやりやすい方法を選びました。私はこうでしたが、お子さんの性格にもよるでしょうし、いろいろなやり方があると思います。

今は、テレワークやフレックス勤務の普及により、以前に比べて格段に、フルタイムでの復職のハードルは下がってきています。

働き方に時間的な制約ができたことで、物理的に大変な部分は当然大きいですが、やるからには能動的に取り組んで高い付加価値を付けたアウトプットを出したいという思いや、自分が主体的に見るべき部分と周囲に委ねるべき部分を意識して(責任は当然自分で負いますが)効率とパフォーマンスを両立させたい、という気持ちは従来よりも高まり、仕事を楽しむことができるようになったと思います。また、優先順位を瞬時に付ける、うまくいなくても瞬時に気持ちを切り替えて代替手段を考える、逆算スケジュールを立てて日程管理をすることなどは、育児で得られたスキルが仕事にも大いに使えます。

お子さんの性格も、親の考えや性格もいろいろ

ですので、こうしなくてはいけないなどと思込まず、振り回されずに、自分の道を進めば良いのではないかと思います。私は、自分の取り組んだ仕事新聞に取り上げられた時は、その記事を読んで解説していますが、子供なりに楽しみにしているのか、「明日は載りそうだ」と言えばいつもより早く新聞を取ってきてくれ、解説に耳を傾けてくれます。



一日の タイムスケジュール例

- 6:00 起床、朝食準備
- 6:45 子供を起こして、自分は出勤
- 7:15 官邸着、閣僚会議の準備
※通常は9:30勤務開始
- 7:55 閣僚会議に陪席
- 8:45 大臣説明
- 11:00 関係団体との意見交換
- 12:00 昼食(同世代の子を持つ職員と
情報交換を兼ねて)
- 14:00 打合せ
- 15:00 関係団体との意見交換
- 16:00 担当から説明を聞き、決裁
- 18:15 退庁
- 19:00 帰宅、食事・風呂(準備も含め)、
宿題チェック等
- 21:00 子供の就寝後、家事、読書など
- 0:00 就寝

女性職員のメッセージ

複数タスクの同時進行、相手の立場や心情を慮っての合意形成、様々な気遣い、気付きなど、行政官に望まれる資質の中には、実は一般的に女性が得意とされているもの多数。「実は女性向き」との声も。

Model 18

法務省
前橋保護観察所長すぎやま たえ
杉山 多恵
Tae Sugiyama

Profile

- 昭和59年・法務省入省(上級甲種(社会)採用)
仙台保護観察所保護観察官
地区担当官業務(保護観察及び生活環境の調整等)
- 昭和61年・宇都宮保護観察所保護観察官
地区担当官業務(保護観察及び生活環境の調整等)
- 平成元年・東京保護観察所保護観察官
地区担当官業務(保護観察及び生活環境の調整等)
～長男出産
- 平成4年・関東地方更生保護委員会事務局保護観察官
仮釈放の審査等に関する業務
- 平成7年・環境庁(現環境省)企画調整局室長補佐
環境教育及び市民活動推進業務
- 平成9年・～長女出産
- 平成10年・法務省さいたま保護観察所保護観察官
地区担当官、更生保護団体及び保護司研修等に関する業務
- 平成15年・関東地方更生保護委員会事務局総務課長補佐
人事・会計等に関する業務
- 平成17年・国連アジア極東犯罪防止研修所教官
国際研修及びセミナーの実施に関する業務
- 平成21年・法務省東京保護観察所統括保護観察官
保護観察等に関する事務の統括
- 平成24年・関東地方更生保護委員会事務局総務課長
管内の人事・会計、事務局の総合調整等に関する業務
- 平成25年・東京保護観察所立川支部長
- 平成26年・矯正局成人矯正課企画官
受刑者の各種指導・分類保護及び国際受刑者移送制度に関する業務
- 平成28年・前橋保護観察所長
～現在

※経歴一部省略

何事も最初は難

人材の育成を第一に

現在私が勤務する保護観察所は、保護司を始め民間の方々の協力を頂きながら、罪を犯した人の再犯防止と社会復帰支援を行う、更生保護行政の第一線です。全ての事件記録に目を通すことはできませんが、記録からうかがえる保護観察官の努力、職員の工夫はできる限り共有し、職員が仕事の質を高めるためもう半歩努力することを助け、その能力と個性を伸ばしていけるよう心掛けています。

困難な状況乗り越えるには

昭和59年に法務省に入省し、10数年間、保護観察官として経験を重ね、それなりの自信とやりがいを感じていました。そんな中、管区機関で初めて管理職として昇任し、人事、会計、職員団体との交渉窓口といった未経験の業務に当たることになった時は、知識と経験の不足から十分に職責を果たすことができず、大きな挫折感を味わいました。当時、下の娘は保育園に通っていましたが、子供を預けながら仕事で満足な成果をあげられないことに、情けない気持ちで一杯でした。それでも、職場では、同期の友人に弱音を聞いてもらい、プライベートでは、常に仕事が頭から離れない状況を変えるため、しばらく弾いていなかったピアノを再開したり、家族と食事やワインを楽しむことで気分転換を図り、何とか最初の1年を乗り切ることができました。ちなみに、ピアノはまた辞めてしまいましたが、ワインは飲み続けて趣味となり、それが高じてワインエキスパートの資格まで取ってしまいました(笑)。国連アジア極東犯罪防止研修所(通称アジ研)の教官となった時も、海外勤務はおろか留学経験もない私は、教官として必要とされる英語力が完全に不足しており、講義やプレゼンの場で度々失敗を重ねました。逃げ出したい気持ちにもなりましたが、英語を身に付けるしかないという覚悟を決め、毎日最低2時間、英語を勉強

しく、やがて易しくなる

することをノルマとし、やがて、講義、会議等何とかなすことができるようになりました。それから、難しい状況は何度かありましたが、努力次第で乗り越えられることについては努力をする、いろいろな理由でそれが難しいときは、周りの力も借り、仮に期待された成果からは程遠くても、全体のパフォーマンスを損なわない程度の結果であれば良しとする、そのような姿勢で困難を乗り越えてきました。“何事も最初は難しく、やがて易しくなる。(T.Fuller)” 私が心に留めている言葉です。

未知の分野での経験が
その後の自信に

更生保護に軸足を置きつつ、何度か他部局で勤務する機会がありましたが、その経験は視野を広げ、後に新たな仕事に臨む際の支えや自信になりました。アジ研では、我が国の刑事政策や社会を国際的な視野で捉える見方を得るとともに、国際共通語としての英語の重要性を痛感し、以来、英語の勉強は私のルーチンとなりました。最近勤務した矯正局では、刑務所や少年院といった厳しい矯正の現場で、受刑者や少年の処遇に高い使命感を持って取り組む矯正職員の姿勢に触れ、更生保護行政を担う者として、犯罪者の社会内処遇の充実にしっかりと取り組まなければならないと、改めて身が引き締まる思いがしました。

かけがえのない子供や家族
との時間

私の世代は、現在のような育児休業制度はなく、

育児は、実家の助けも借りながら、元祖イクメンとも言えるほど協力的だった夫とともに頑張ってきましたが、随分無理をし、子供たちにも寂しい思いをさせたと思います。今、国家公務員の子育て環境は、以前とは比較にならないほど改善されています。育児や家族との時間は、二度とないかけがえのないもの。後輩の皆さんには、制度を有効に活用して、子供や家族としっかり向き合い、いつかの充電した力を、大いに仕事に発揮してほしいと思います。

一日の
タイムスケジュール例

- 5:00 起床、英語又は仏語の勉強、朝食、弁当作り
- 8:20 登庁(新幹線通勤)
- 9:00 個別事件対処方針協議
- 10:00 管理職定例会議
- 11:00 社会復帰調整官定例会議
- 12:00 昼休み
- 13:30 保護司会連合会理事会出席
- 15:30 事件記録等決裁
- 17:20 退庁
- 19:15 帰宅、犬の散歩、夕食準備
- 20:30 夕食、テレビ
- 22:00 翌日の食事の準備、洗濯、入浴
- 23:00 就寝

女性職員のメッセージ

仕事のみならず、プライベートな面でも、大変な時は決して一人で抱え込まず、周りに相談し力を借ります。いつか壁を乗り越え、元気になったら、今度はあなたが誰かを支えてあげればよいのですから。

Model 19

外務省
研修所総括指導官



たけうち
竹内 みどり
Midori Takeuchi

Profile

- 昭和57年・外務省入省(外務省専門職採用)
北米第一課総務班
要人往来、冠婚葬祭担当
- 昭和58年・在外研修(米国)
- 昭和60年・在シンガポール大使館三等理事官
大使秘書
- 昭和61年・結婚
- 昭和62年・長男出産
産前休暇(2週間)、産後休暇(8週間)
- 昭和63年・外務省研修所語学班
語学研修の企画・立案・実施
- 平成4年・在ニューヨーク日本国総領事館副領事
政治・経済の情報収集、報告及び便宜供与
- 平成7年・次男出産
産前休暇(2週間)、産後休暇(8週間)
- 平成9年・国内広報課課長補佐
外交専門誌編集担当
- 平成12年・経済局国際エネルギー課課長補佐
国際機関(エネルギー憲章条約)担当
- 平成14年・北米局北米第一課課長補佐
米国の国内政治分析及び日系人交流担当
- 平成17年・経済局アジア欧州協力室首席事務官
アジアと欧州の対話会議運営
- 平成19年・国内広報課首席事務官兼広報室首席事務官
外務省ホームページ及びその他の広報手段
を使った日本外交の広報の課内・省内の調整
- 平成22年・在デトロイト日本国総領事館首席領事
総領事を補佐し、管理運営
- 平成25年・会計検査院事務総長官房調査課国際業務
室室長
最高会計検査機関の国際会議、二国間関
係の構築及びアジア地域の研修支援
- 平成28年・外務省研修所総括指導官
研修の企画立案及び管理運営
- ～現在

仕事も家庭も

志を持つ

私は、AFS高校留学により1年間アメリカでホームステイした経験から、違いを超えて世界の平和と繁栄に貢献したいと強く願い、外務省に入省しました。在外研修後の赴任先であるシンガポールで夫との出会いがあり結婚、出産。親としての責任は2人で果たすこと、お互い仕事を続けることが約束でした。夫の献身と忍耐のおかげで今の私があることに心から感謝しています。

帰国後は、長男の突然の発熱で頻繁に休み、職場に迷惑を掛けて悩み、毎日を切り抜けることで精一杯でした。それでもあと少し今いるところで頑張ろうと小目標を立てて、乗り切ることができました。地方に住む2組の両親の支えにも感謝です。そんな私にも外交の第一線に立つ通訳の機会が与えられ、丁寧に務めました。

遅過ぎることなどない

ニューヨークでは、平日住み込みのシッターさんに子供を託しました。経済摩擦の中、日米の絆が確認された天皇皇后両陛下の御訪米が印象深い仕事でした。在外公館勤務には、新たな発見があり、人脈形成の知恵と努力により、生活も仕事も豊かになる楽しさがありました。次男を授かり、再び幼児を連れて帰国。15年ぶりの本省勤務です。

夫が私のどちらかが子供の世話をできるよう、出張日程を調整しました。40歳で初めて国際機関を担当し、条約を国会に承認いただき、新たな挑戦に遅過ぎることはないと確信しました。そして再び日米関係を担当します。イラク戦争、自衛隊のイラク派遣と危機対応の続く怒濤の時期の政治分析は厳しいものでしたが、やりがいのある職責でした。

管理職の勧め

首席事務官職の提案を受け、心が躍りました。

世界平和も

研修も役立ちました。家族も応援してくれました。日程管理も自分で決められることが増え、アイデアを出し、ゆとりある計画、早めの指示、具体的な説明により、無駄を省き、成果を実現できる魅力があります。道理があれば前例がなくても行い、リスクを取ることで、職員の事情をよく聞いて、活躍できる環境を整えるのも大切なことです。管理職を勧められたら、変化に躊躇せずに試してみてもいいでしょうか。変化という意味では、出向もまた新しい経験を積む機会です。

同じ組織の3人の首席事務官で月1回、昼食を共にして、忌憚のない情報交換をしたことで、格段に仕事がしやすくなり、幅も広がりました。省内で両立支援の動きがあり、女性職員に積極的にアウトリーチをしました。

誰もが働ける社会へ

夫が単身で海外に赴任した時期に父の介護が重なり、海外出張のないポストに異動。毎週土曜日は実家に帰り、家族の付き添いが必要な病院の予約日には年休を取りました。ケアマネさんから助言を受け、食事は宅配、定期的な通院の送り迎えの手段を確保。薬剤師さんの訪問とお薬カレンダーの活用で薬の飲み忘れがなくなりました。

私がデトロイト総の次席として単身赴任した時は、夫がサッカー部の中高生であった次男のお弁当も手作りして、社会人の長男とともに家族を守りました。

昨年、私はステージⅠの乳がんと診断されました。自覚症状は全くありませんでした。術後4日で職場に復帰し、治療を続けながら元気に働けたことで、がんは不治の病ではなく、共に生きる時代になったと認識を新たにしました。介護や病気の治療の時も働ける社会、組織にしていなくてはと思います。

昔、私が外務省研修所で迎えた人たちが多彩に活躍しているのを見て嬉しく思います。再び、新規採用職員の初任研修、海外赴任前の各種研修等を担当し、関係者と知恵を絞っています。若い人たちの成長が楽しみです。全ての出会いに感謝して。



一日の タイムスケジュール例

- 6:00 起床、朝食、夕食作り
- 6:50 朝食
- 7:40 自宅発
- 9:10 研修所着
- 10:30 所内打合せ
- 11:15 連絡会議
- 12:30 昼食
- 13:30 研修の企画・調整
- 18:30 研修所発
- 20:00 帰宅
- 20:30 夕食
- 21:30 家族とビデオ視聴、メールチェック等
- 23:00 入浴
- 0:00 就寝

女性職員のメッセージ

女性の働き方は多様になり、公務員も人生とキャリアをデザインして能動的に働くことができます。どうしたいのか、意思と能力のあることを、上司に伝えましょう。ぜひあなたの挑戦の物語を聞かせてください。

Model 20

文部科学省
研究開発局宇宙開発利用課
宇宙利用推進室長



しょうざき みか
庄崎 未果
Mika Shozaki

Profile

- 平成9年・科学技術庁入庁(1種(法律区分)採用)
科学技術振興局国際課
国際関係業務の連絡・調整
- 平成10年・文部省生涯学習局生涯学習振興課民間教育事業室
塾等の民間教育事業についての取りまとめ、生涯学習振興法関連業務等
- 平成11年・生涯学習局男女共同参画学習課
男女共同参画学習政策、少子化対策についての連絡・調整
- 平成12年・行政官長期在外研修(米国)
ジョンズ・ホプキンス大学ポール・ニツェ高等国際問題研究大学院
- 平成14年・文部科学省研究振興局振興企画課企画調整係長
局内の法令・制度の連絡・調整
- 平成15年・研究振興局量子放射線研究課課長補佐
原子力の研究・開発に関する企画・立案
- 平成17年・東京大学研究協力部国際課長
学内の国際化の推進、国際関係業務の取りまとめ
- 平成18年・～長男出生
産前・産後休暇、育児休業(1年2か月)
- 平成19年・科学技術・学術政策局計画官付計画官補佐
科学技術基本計画の推進、次期計画策定に向けた検討
- 平成21年・内閣府政策統括官付参事官付参事官補佐
科学技術基本計画の推進、次期計画策定に向けた検討
- 平成22年・経済協力開発機構(OECD)プロジェクト・アドミニストレーター
科学技術に関する国際協力に関する会議開催等
- 平成25年・独立行政法人放射線医学総合研究所企画部次長
研究所の予算、評価の取りまとめ
- 平成27年・文部科学省大臣官房国際課国際協力企画室長
G7教育大臣会合の総括、G7を始めとする欧米諸国との関係強化
- 平成29年・研究開発局宇宙開発利用課宇宙利用推進室長
～現在

自分が納得で

多様な職務

公務員の仕事の面白い点の一つは、多様な経験ができることだと思います。私は、科学技術庁に入庁後、省庁再編による文部省との統合が決まったことから、翌年には統合に先立ち文部省生涯学習局に出向し、その後、米国に留学して統合後の文部科学省に戻りました。帰国後は主に科学技術政策関係の仕事に携わりましたが、東京大学事務局での経験の後で産休・育休に入り、復帰してから、本省の勤務に加えて、内閣府、OECD(パリ)、研究所での業務を経験しました。一つのことを担当する期間が短いのは物足りない方もいるかも知れませんが、私自身は新しいことを学んだり、新しいネットワークを築く良い機会となるので、楽しんでいます。

ワークライフバランス

息子の出産を機に、1年2か月の育児休業をいただきました。復帰後は基本定時で退庁として、毎日ぴったりに退庁することが、自分自身にとっても職場にとってもストレスになると感じたので、週に2回は曜日を決めてファミリーサポートの支援も得ました。また、国会等でどうしても遅くなる時は、同じ役所に勤める主人に先に帰ってもらうこともありました。夫婦ともに実家が離れているため、子供が病気の時なども夫婦で交互に休みを取って対応しました。

子供が4歳の時に夫婦ともにパリに赴任となり、3年間は日本と違う環境で仕事と育児を両立しました。パリでも日本人のシッターにお迎えと預かりをお願いしましたが、それでも、日本に比べて両立している女性への理解が進んでいたことや、生活リズムの違いなどから、家族での時間を充実できたのは、大変貴重でした。

今では子供も大分大きくなりましたが、学童保育に加えてファミリーサポートとシッターを組み

きるバランスで

合わせて使っています。子供が小さかった頃よりは勤務時間が伸びましたが、それでも子供のお風呂の前には必ず夫婦どちらかが家に帰れるようやりくりしています。

先日、テレワークを数回試しましたが、通勤時間が節約でき、少しでも子供のそばにいてあげられるので、良い制度だと思いました。出勤しないと打合せはできないので、当然周囲の理解と協力も重要ですが、テレワークで対応できる仕事を計画的に切り出して対応すれば、逆に効率的だと感じました。私の場合、子供が小さい時は制度が未整備で活用していませんでしたが、子供が小さい方には、男女ともに、うまく使っていただけると良いと思います。

なぜ続けるか

家族も職場も理解があり、また海外赴任のタイミングが良かったこともあって、比較的恵まれた環境で両立をさせていただいたと思っています。一方で、家族にも職場にも負担を掛けているという気持ちは常にあり、全て中途半端になるのであれば仕事を辞めた方がいいだろうかと悩んだこともありました。ただ、仕事を続ける中で、こんな自分にでもできることがまだあるな、と思える場面がありました。息子の方も、こういう時お母さんにいてほしい、と思うこともあったようですが、周りにも働いているお母さんが多いためか、最近では、冗談半分に「お仕事辞めようかな」というと、「まだ

定年じゃないでしょ。」と返してくるようになりました。この子にとってはお母さんが働いているというのが普通の状態なんだなと思うと、先々頼もしい気がします。すごく忙しくてなかなか家に帰れなかった時、電話で「ごめんね、いつ帰れるか分からない。終わりが見えなくて。」と言ったところ、「終わりが見えなくても終わりはあるよ。」という名言で励ましてくれたのも、息子でした。

一日の
タイムスケジュール例

- 5:30 起床、朝の準備
- 9:00 登庁
- 11:00 在京大使館との打合せ
- 12:00 昼食
- 13:30 幹部レク
- 15:00 海外との電話会議
- 16:00 来客
- 19:00 退庁
- 20:00 帰宅
- 20:30 子供と入浴
- 21:30 子供の勉強を少し見てから、子供を寝かしつけ
- 22:00 食事、家事等
- 23:30 就寝

女性職員のメッセージ

女性の参画の遅れが指摘されますが、ここ10年でも状況は随分良くなっています。仕事も育児も、自分だけのためのものでも、他の人だけのためのものでもありません。自分が納得できるバランスを発見してください。

Model 21

内閣官房
まち・ひと・しごと創生本部事務局次長
／内閣府地方創生推進事務局審議官



らい
頼 あゆみ
Ayumi Rai

Profile

- 平成元年・建設省入省(1種(法律区分)採用)
都市局都市計画課
- 平成4年・英国留学(論文を書いて1年の修士課程修了)
- 平成7年・～結婚、急性肝炎で入院
- 平成11年・～長女出産
育児休業(約1年)
- 平成13年・～長男出産
育児休業(約半年)
- 平成14年・国土交通省国土交通政策研究所主任研究官
- 平成18年・～夫の両親と同居
・道路局道路管理課企画専門官
- 平成20年・河川局水政課水利調整室長
- 平成22年・(独)住宅金融支援機構(広報担当)
- 平成25年・国土交通省水管理・国土保全局下水道部
下水道企画課長
- 平成26年・(独)日本高速道路保有・債務返済機構
(監事)
- 平成28年・内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
次長／内閣府地方創生推進事務局審議官
地方創生に関する業務(広報、「生涯活躍
のまち」、観光、都市再生等)

※経歴一部省略

ワークもライフも

急性肝炎でワークライフ バランスに目覚める

男女雇用機会均等法ができて数年後、運良く建設省(当時)に採用していただきました。

結婚は係長のとき、阪神・淡路大震災で仕事も郷里も大変なことになっているときでした。免疫力が落ちたせいか、1か月後に急性肝炎を発症して、入院とその後の自宅療養で1か月以上休みました。

職場に復帰してみると、私が何とかしなければと必死だった業務はしっかり進められていました。他方、自分の健康のことは自分で考え、自分で守るしかないと感じました。これをきっかけに、私は、今で言うところのワークライフバランスの大切さに目覚めたのだと思います。

育児にはたくさんの助けを 借りる

育児休業については、制度ができた後、省内の同職種の中で初めて出産したのが私だったので、後輩のためにもしっかり取ろうと決めていました。保育園のタイミングに合わせて、1人目で約1年、2人目で約半年取りました。残りの半年間は時短勤務も試してみました。

実は、最初の育休の終わり頃には仕事がしたいと思うようになりました。家や子供を中心とした生活だけ続けるのは大変で、自分に専業主婦は務まらないと分かってきたのです。

しばらくは研究所に置いていただき、育児と家事を夫と分担しました。上の子の小学校入学に合わせて夫の両親と完全同居。下の子のお迎えと家事は姑にお任せして、いわゆる行政の仕事に復帰しました。仕事と家事・育児を何とか両立できたのは、保育園と学童保育、そして何より、じいちゃん&ばあちゃんのおかげです。

子育ては大変で、理屈や努力だけではどうにもならないことも多いのですが、やはり子供は愛お

サステナブルに！

しいし、たくさんの感動もあります。機会があれば、是非積極的に楽しんでほしいと思います。

介護スタート、 ようやく「主婦」になる

昨年、姑が脳梗塞で倒れました。認知症で要介護4の舅は、家ではほとんど姑が看っていたので大変です。その日は夫と私で病院に駆けつけ、夏休みで家にいた息子がデイケアから戻った舅を迎え、娘が夕食を作りました。その1か月後、今度は舅が倒れました。介護も家事も家族総出で、ケアマネさんやソーシャルワーカーさんにお世話になりながら、綱渡りのような毎日でした。その後、舅は他界しましたが、姑はリハビリ病院を経て自宅に戻ってきました。失語は残りましたが、要介護1まで回復し、今はデイケアに通ったり、言語聴覚士さんに来てもらって、リハビリを続けています。

私自身の家事や介護の負担は格段に増えたので、よく「家事手伝い」から「主婦」に昇格したと言っています。毎週、日曜の夜には、味の無い具たくさんスープを大鍋でたっぷり作ります。毎日少しずつ取り分けて違う味付けをして、おかずや娘と自分のお弁当にします。子供たちはもう立派な戦力です。平日の夕食はほとんど娘が作ってくれて、いつの間にかレパートリーを増やしています。

やれることを一生懸命やる

仕事の方は、時代の流れもあって、随分と分不相応な立場に来てしまいました。同期から「らいちゃん、大丈夫か」と心配されつつ、日々経験不足

を痛感し、アップアップしながらやっています。それでも、何とかやるさと開き直り、ここで踏ん張っていきたいと思います。そのためには、とにかくやれることは一生懸命やる、できそうにないことは早め早めに周りに相談するようにしています。

結局、仕事も家のことも、やれることをやる、続けられることをやる、一人で抱え込まないのが大切なのだと思います。そしていつも感謝すること。これからも、公私ともに楽しみつつ、前向きに頑張っていきたいと思います。



一日の タイムスケジュール例

- 5:30 起床、家族の朝食、娘と自分のお弁当作り
- 6:45 夫と一緒に出発(片道1時間半)
- 8:40 登庁、メールチェック、新聞に目を通す、大臣レクの準備等
- 10:00 会議
- 12:00 昼食、メールチェック、残りの新聞に目を通す
- 13:00 打合せ
- 14:20 大臣レク
- 15:00 永田町庁舎にある地方創生推進事務局に移動して、打合せ
- 17:00 8号館に戻って、メールチェック、資料整理、勉強、いくつかの10分程度の打合せ
- 18:40 退庁、会合
- 22:45 帰宅、翌日用の料理
- 23:30 入浴、就寝



女性職員へのメッセージ

女性であることのプラスもマイナスもありますが、プラスの方が少し多いという気持ちでやっていきましょう。それから、家庭、職場以外の三つの居場所を持つこと。一つが辛くなった時に、持ちこたえられます。

Model 22

国土交通省
気象庁札幌管区気象台長



は や し く み
林 久美
Kumi Hayashi

Profile

- 昭和58年・気象庁入庁(上級甲種(物理)採用)
札幌管区気象台技術部観測課
地上観測、レーダー観測現業
- 昭和60年・予報部長期予報課
世界の天候、気候解析
- 平成元年・予報部長期予報課調査係長
世界の天候、気候解析
・～長女出産
産前・産後休暇(13週間、育休制度なし)
- 平成5年・予報部長期予報課調査官
世界の天候、気候解析
・～次女出産
産前・産後休暇(14週間、育休取得せず)
- 平成8年・予報部予報課予報官
週間予報担当、技術開発担当(週間アン
サンプル予報導入)
- 平成14年・東京航空地方気象台予報課長
- 平成16年・予報部予報課予報官
- 平成17年・予報部数値予報課アプリケーション班長
予報ガイダンスの開発統括
- 平成19年・地球環境・海洋部気候情報課アジア太平洋
気候センター所長
主としてアジア域に対しての気候情報の
技術支援
- 平成23年・観測部計画課情報管理室長
- 平成25年・札幌管区気象台気象防災部長
- 平成26年・地球環境・海洋部環境気象管理官
- 平成27年・地球環境・海洋部気候情報課長
- 平成28年・札幌管区気象台長
～現在

気にし

マイノリティーカードは 役に立つ

キャリアパスについては、一人一人の背景が違
う上に、ある行動とその結果に普遍的な因果関係
があるのかを証明するのはとても難しいことです。
自分の心の声が分からなくなるほどには人の話は
聞かない、ということが大事であるというのが私
の考えなので一般的なアドバイスはできないので
すが、「マイノリティー(少数派)カード」を持ってい
れば、それは人間の幅を広げるカードになると
思っています。現在の日本では「正規雇用で働く組
織で昇進を目指す女性」はまだマイノリ
ティーです。私のマイノリティーカードは他には
“左利き”。言い換えると少数派の立場を理解でき
る多様性の種をいくつ持っているかということで
しょうか。このことは仕事を長く続けるには大切な
資質です。私に関して言えば、その他については
自分の実力ではない環境に恵まれていた、と思い
ます。“正規雇用で働く組織で昇進を目指す女性”
は、私が大学を卒業した時代では、その他のカード
をたくさん持っているとなかなか天井を突き破る
のは難しいくらいの大きなカードでした。

時代によって運は異なる

昭和32年生まればベビーブームが終了して人
口が少なく、全てにおいて競争は少なくて済みま
した。大学入試の際には石油ショックのあおりで
理科系が医学部に希望が集中し、理工系は希望者
が少なく理工学系志望だった私には幸運でした。
卒業する頃は景気が回復、男女雇用機会均等法こ
そまだありませんでしたが、技術系に関して女性
に門戸が開かれつつありました。子育て期間中は
実家がそばにあり、保育園は実家と自宅の中間
地点で、保育園のお迎えは通算11年間母がやっ
てくれました。夫は比較的時間に自由の利く職種

ない力

であったりするなど、働き続けるのに非常に恵ま
れていたのだと感じています。上司、同僚、部下た
ちにも恵まれました。“運も実力のうち”としても
運8、実力2くらいでしょうか。ヒラリー・クリントン
さんの「あなたは、価値がある存在で、しかも力強
い。あなたの夢を実現する機会を追い求めるに値
するんです。そのことを、決して疑わないで」は心に
響きましたが、追い求めることができる機会を持
つことができること自体、強い意志を押し通せる
資質も含めて既に環境として恵まれていると感じ
ています。“追い求めたい”と言う気持ちを持つこと
ができたというだけで、もう恵まれている、だから
いつか夢は実現すると思います。

転職に関しては、気象庁は北は稚内から南は
南極、東は南鳥島と広い範囲で職員が働いていま
す。気象庁に勤めていると本当に日本は広いな、と
実感できます。広い日本を1～2箇所しか知らない
のは惜しいと思います。

子育てはおもしろい

子育てにおいては、自分と違う人格の人間をす
ごくそばで見ることができるというのは大きな財
産です。数学が苦手な娘を持ったため、“数学を理
解できないということはそういうことなんだ”と、
開眼するものがありました。“ゆとり教育”は彼女
にとって救世主でした。でも、彼女は勉強ができな
いだけで、頭が悪いわけでは決してないのです。高
度経済成長期に子供時代を送った私たちの世代
とは全く異なった感覚を持つバブル崩壊以降育ち

の生きにくさも目の当たりにすることができます。
子供たちにとっていい親だったかは分かりません
が、私は子供がいて良かったと心から思っていま
す。若い人たちへのアドバイスとしては、自分が
50歳くらいの時には子供が高校を卒業しておく
のが体力的には楽なので、子供が欲しいと思っ
たら周りに遠慮せずに、周りも優しく子育てを見
守ってほしいな、と思います。

子供たちには“お母さんの最大の能力は‘気にし
ない力’だね”と言われますが、これが生まれ持っ
た能力なのか、長い公務員生活で身に付けたもの
なのか自分でもよく分からないところです。



一日の タイムスケジュール例

- 6:30 起床、食事、洗濯
- 7:40 出勤
- 8:20 登庁
- 8:30～9:00 予報会報
- 10:00～11:00 打合せ
- 14:00～16:00 打合せ
- 17:30 退庁
- 17:30～19:30 買い物など
- 19:30～24:00 食事、テレビ、パソコン、
読書、家族と電話など
- 24:00 就寝

女性職員のメッセージ

明日できることは今日するな。何が正しいかは自分で判断できるようにしておくこと。
自分がしてほしくないことは人にしないこと。

女性職員の 本音



人の名前は間違えないところ、上の立場の人間が対外的に面倒なことを率先してやる姿勢。まねしたいと思っている。

「誰でも最初は分からなくて当たり前。」知識の無さ=能力不足と思い、いつも自信がなかったため、救われた。

現在活躍している女性職員に対して、
仕事やライフスタイルについての本音を聞いてみました！

感化された又は有り難かった 上司の言動・その理由

「臨機応変に対応する。」当たり前の事だが、職場・職務によってやるべきことやタイミングが異なることになかなか気付かなかった。

「自分のいる環境を居心地良くすることが大事。」無理をしないまでも周囲の期待に応えるための努力が大事だと自覚できた。

「チャンスの女神には前髪しかない」
(レオナルド・ダ・ヴィンチの言葉)
与えられた機会を大切に
して何事にも前向きに取り
組みたいと思うように
なった。

「一山乗り越えたね。」
苦労していたことを
分かってくれていたの
だと知り、気力が
湧いてきた。

子供の病気等で
他の人ほど労働時間を確
保できていないことを
気にしていた際に、
「きちんと仕事をしていれば
大丈夫。」と言ってもらえ
て有り難かった。

急に休まざるを得ず、上司に仕事を代わってもらった際、「あなたも将来誰かに同じようにしてあげればいいから。」と言われたこと

「人生丸くまあるく」と書いた名刺をいただき、行動する前に立ち止まるよう心掛けるようになった。

「やってみる。」との仕事の指示。先輩から、(当時は)女性に任せる例は少なく、反対もあったと聞き、後から一層感謝した。

「女性だけでなく、男性も介護など家庭の事情をいろいろと抱えているから、子供の看病等を理由に休暇を取ることを遠慮しないでほしい。」

「おれは僕じゃなくて後輩に返してあげて。」先輩から受けたものを後輩に受け継いでいくことを教えられた。

「子供にとって母親はあなたしかいない、とにかく小さいうちはかわいがってあげなさい。大変な一時期を過ぎれば、必ずこれまで以上の仕事ができる。」

「『つう』と言わなくても『かあ』が出てくる。」信頼してもらっていると嬉しく思った。

妊娠中、自宅安静を指示され出勤できず心苦しかったとき、「今大事なことを考えて。」と言われたこと。いずれ恩返ししたいと思った。

混乱の極みの部局に応援に駆けつけ、いきなり袋叩きにあいながらも、平然かつ冷静に事態の打開に奮闘されている姿

「家庭を犠牲にしても、人事評価は上がらない。」
「お母さんに代わりはいない。」
上司や先輩ママからの言葉に救われた。

実家の助けもなく、単身赴任で2人の育児をしていた他省先輩の存在。さっと楽しそうに仕事をして、地域の信頼が厚い人だった。

「辞めないで続けてくださいね。」
1年目の上司達からお声掛けいただき、思い返しては励まされた。私も後輩に伝えている。

女性職員の 本音

2

今までの困難・失敗例、 その乗り越え方

押さえるべきポイントを
把握しないまま、
場当たりに業務を
行った結果、成果が得ら
れなかった。経験を重ね
ることにより、克服

反省も大切だが、
十分反省した後は
気持ちを切り替えて
引きずらないように
している。

仕事を終わらせること
ばかり考えて、内容を余り
深く考えないで業務を
進めてしまった結果、上司
からの指摘・指導があり、
大きなトラブルとならずに
済んだ。

融通が利かず、相手に
迷惑を掛けていたこと
が後になって分かること
がある。気が付いた時点
で率直におわびする。

大事な会議の日に風邪
で喉をやられてしまい、
声が全く出ないことが
あった。以後体調管理に
は細心の注意を
払っている。

自分で全て抱え込まない
で周囲にSOS。自分だけ
で判断しようとするのは
大変。相談できる人を
増やすためにも積極的
に声を掛ける。

長野に転勤後、変化に
弱い発達障害の長男が
荒れ、育児への自信を
失った。療育施設に1年
程通い、親子共に
学び成長した。

業務の優先順位を誤り、
重要な仕事を後任者に
託してしまったこと。今は
予定表を常に見直して
自分の業務を把握
している。

多くの場合ミスは取り戻
せないで、自分がクヨ
クヨ引きずっても誰も
得しない。きちんと謝っ
たら、あとは事後処理や
改善に集中

資料の記載ミスが会議
当日判明、すぐに上司へ
報告して対応した。事前
の十分な確認と、迅速な
報・連・相が大切である
と実感した。

失敗の原因を分析し、
再発防止方法(自分の
性格やクセを考慮した
オリジナルの方法)を
編み出す。

忙しいといふ部下への
情報共有を忘れ、
自分で処理しがち。
立て込んだときほど、
状況を共有し、チームで
対応するよう心掛けた。

急に欠勤せざるを得な
かった時、上司に仕事の
状況を的確に伝えられ
なかったこと。報・連・相
をより密にするよう
心掛けた。

失敗したことは
いつまでも覚えないこと。
部下たちにも“親より先に
死ななければ後は大した
問題ではない”と
言っている。

高地メキシコの
国際会議で体調不良。
会議はこなしたが、
ブラック・タイの夕食会は
ドレスを渡して大使館員
に代わってもらった。

施策のプレゼンや、
議員説明での失敗。
結局、勉強不足が原因だった。
曖昧な点がなくなるまで入念
に準備するよう
心掛けている。

幹部の部屋に
間違い電話(涙)。
何事も経験と思い、
開き直る。

シッターさんと連絡が行き
違い、お迎えがなかった
ことがあった。予定変更等
もあって完璧は難しく、都度
丁寧に確認するより
他ない。

女性職員の 本音



休日の過ごし方

時間があれば旅行している。旅先での素晴らしい景色やおいしい料理に感動すると、また明日から頑張ろうという気持ちになる。

平日余り一緒にいられない分、1歳半の息子ととことん向き合って過ごしている。

たまった家事をこなしつつ、家族で近場の観光地に出掛けたり、公園で遊んだり。最近は子供の勉強に時間を取られることも。

現在は単身赴任で京都にいますので、神社仏閣、美術館や博物館などに掛け、京都を満喫している。

買い物

以前は趣味(ダンス)、今は1週間分の買い物や洗濯、時間があれば、家族で外出(遊園地や芋掘り等)をするようにしている。

うちでごろごろして本を読むこと

今まで家族優先だったのでお気楽単身生活を機会に散歩や読書など自分の好きなことだけ。家族にはその様子を写メして自慢

現在単身赴任中の夫と一緒に買い物に行ったり、ごはんを食べたり、メリハリのある日々を送っている。

身体のメンテナンスにリフレクソロジーを受け、おいしいものでお腹を満たし、ちょっとのお酒で気分を上げてリフレッシュする。

散歩、読書

子供たちと
思いっきり遊ぶ。

朝5時から夜20時頃まで全力で遊ぶ子供の相手で平日よりハード。子供の通院や買い物もできるだけ休日に済ませる。

夫と一緒に様々なワイン会に顔を出す。そこで出会う異業種の人たちと、ワイン談義で大いに盛り上がる。

1日目は昼寝をはさみつつ、たまった家事、歯科への通院、子供の習い事の送迎等をし、2日目は余力があれば家族と外出

平日行けない子供の皮膚科などへの通院。それ以外は子供連れでの外出(商業施設や公園など)

子供と体を動かして遊ぶ。遊園地やヒーローショーなどを一緒に楽しむ。時には子供を理由に自分がしたいことをする。

教会の主日礼拝に通っている。2週間に1度、故郷の介護施設に母を訪ねる。独立した長男を交えての家族の食事を楽しむ

子供のリトミック教室参加、子供と公園...など、子供と過ごす時間が最優先。空いた時間に家事を済ませる。

ヨガやスイミングでリフレッシュ。家族と出掛けて遊ぶ。子供のサッカーの試合の応援。料理の腕を振るい、実は料理が上手いアピール

共働きのため、休日くらいはずっと子供と接するように心掛けている。家族団らんを幸せに感じる時であり、仕事への活力の源

女性職員の活躍・ ワークライフバランス推進のための 3つの改革について

政府では、女性職員の活躍とワークライフバランス推進のため、平成26年10月17日、全府省の事務次官級の会議において決定した「国家公務員の女性活躍とワークライフバランス推進のための取組指針」(平成28年1月28日一部改正)に基づき、女性職員の皆さんが働きやすく、ますます活躍できるような、また、男女問わず職員が責任と誇りを持って生き生きと働けるような環境作りに一丸となって取り組んでいます。

※取組指針の全文や各府省等の取組計画は、以下の内閣人事局HPでご覧になれます。
http://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinikyoku/jinji_w3.html

働き方改革

✓ 意識の改革

- 大臣・事務次官等から明確なメッセージを継続的に発出。
- 「ゆう活」等の取組による早期退庁の推進等を集中的に行う期間としてワークライフバランス推進強化月間(7・8月)を実施。
- ワークライフバランス実現の取組を人事評価に反映。

✓ 職場における仕事改革

- 職場レベルで超過勤務や業務処理状況の現状把握を行った上で改革を進め、ワークライフバランスの取組が優良な職場を表彰。
- 法令、国会、予算等の業務の効率化と各省協議ルールの厳格化を徹底。

✓ 働く時間と場所の柔軟化

- テレワークを本格的に活用。
- フレックスタイム制の拡充。



育児・介護等と両立して 活躍できるための改革

✓ 男性の家庭生活への関わりを促進

- 管理職員等の意識の啓発と両立支援制度の利用希望の把握。
- 育児休業取得目標(13%)に加え、配偶者出産休暇・育児参加休暇の対象となる男性職員の全員取得を目指す。

✓ 子育てしながら活躍できる職場へ

- 育児休業取得が昇任・昇格に影響しないようにする。
- 育児休業中職員向けセミナーを実施。
- 育児休業中職員に対し管理職員等から定期的に連絡を取る。
- 産前・産後休暇、育児休業等の代替職員を配置しやすい環境を整備。

✓ 保育の確保

- 庁内保育施設の情報の提供。
- 転勤先の保育所確保のための早期内示等の配慮。



女性の活躍推進のための改革

✓ 女性の採用拡大

- 国家公務員採用試験に関し、女性の合格者の増加に向けた広報活動の強化の見直し。
- 女性の中途採用と中途退職した女性の採用の推進。

✓ 女性の登用目標達成に向けた計画的育成

- 府省ごとに女性の登用目標を立て、計画的に育成。
- 従来の慣行にとらわれず、女性が活躍する職域を拡大。
- 出産・育児等を考慮して重要なポストの経験時期を前後させるなど人事管理を柔軟化するとともに、転勤の可否等が登用の支障とならないよう配慮。
- 従来の意識や慣行から脱却するよう管理職員の意識を改革。

✓ 女性のキャリア形成支援、意欲の向上

- 若手女性職員のキャリア形成支援研修を実施。
- 中堅女性職員の支援による意欲、スキル等の向上。
- ロールモデルとなる人材の育成・メンター制度の導入や人的ネットワークの形成を促進。



両立支援制度の概要

全ての職員が、自分の生活を大事にしながら、生き生きと働き続けられるよう、それぞれの状況に応じて、両立支援制度が用意されています。

妊娠・出産

◇深夜勤務及び時間外勤務の制限

妊産婦である場合、深夜(午後10時から午前5時)勤務及び時間外勤務を制限することができます。

◇健康診査及び保健指導のための職務専念義務免除

妊産婦が、健康診査及び保健指導の受診のために勤務しないことが認められます。

◇業務軽減等

妊産婦である場合、業務の軽減又は他の軽易な業務に就くことができます。

◇通勤緩和

通勤時の混雑が妊娠中の職員の負担になる場合、1日につき1時間以内で勤務しないことが認められます。

◇休息、補食のための職務専念義務免除

妊娠中の職員が母体保持等のために休息又は補食するために必要な時間勤務しないことが認められます。

◇産前・産後休暇

産前6週間前から出産の日までは休暇を取ることができます。
出産の翌日から原則として8週間は休暇を取ることになります。

◆配偶者出産休暇

妻の出産に伴う入退院の付添い等を行う男性職員に与えられる休暇です。

◆育児参加のための休暇

妻の産前産後期間中に、子の養育を行う男性職員に与えられる休暇です。

育児

◎育児休業

子が3歳に達する日まで、休業することができます。

◎育児短時間勤務

小学校就学前の子を養育するために、短い勤務時間で勤務することができます。

◎育児時間

小学校就学前の子を養育するために、1日につき2時間以内で勤務しないことが認められます。

◎保育時間

生後1年未満の子を養育するため、1日2回それぞれ30分以内で勤務しないことが認められます。

◎子の看護休暇

小学校就学前の子の看護のために年5日(子が2人以上の場合は10日)まで休暇を取ることができます。

制度のマークについて

- ◎…男女ともに利用できる制度
- ◇…女性職員のみ利用できる制度
- ◆…男性職員のみ利用できる制度

妊娠・出産 育児・介護共通

◎休憩時間の短縮

通勤時の混雑が妊娠中の職員の負担になる場合、小学校未就学児の養育や小学校等就学児を送迎する場合、要介護者を介護する場合等に、休憩時間を短縮することができます。

介護

◎短期介護休暇

要介護者の介護等のため、年5日(要介護者が2人以上の場合は10日)まで休暇を取ることができます。

◎介護休暇

要介護者の介護のため、最大6か月まで(3回まで分割可)休暇を取ることができます。

◎介護時間

要介護者の介護のため、連続する3年の期間内、1日につき2時間以内で勤務しないことが認められます。

育児・介護共通

◎早出遅出勤務

小学校未就学児の養育や放課後児童クラブ等に通う小学校等就学児の送迎、要介護者の介護のため、勤務時間帯をずらして勤務することができます。

◎深夜勤務の制限

小学校未就学児の養育や要介護者の介護のため、深夜(午後10時から午前5時)勤務を制限することができます。

◎超過勤務の免除

3歳に達するまでの子の養育や要介護者の介護のため、超過勤務をしないことが認められます。

◎超過勤務の制限

小学校未就学児の養育や要介護者の介護のため、超過勤務を制限することができます。

◎フレックスタイム制の特例

小学校6年生までの子の養育や要介護者の介護をする職員は、通常のフレックスタイム制より柔軟な仕組みを利用することができます。

参考情報

- 内閣人事局ホームページにおいても各種情報がご覧になれます。
また、内閣人事局では、イクメンパスポートを作成・公表し、男性職員の育児休業等の取得を促進しています。
http://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/jinji_w4.html

※取得を希望する場合は、可能な限り早い時期に上司や人事担当に相談しましょう。



フレックスタイム制の拡充について

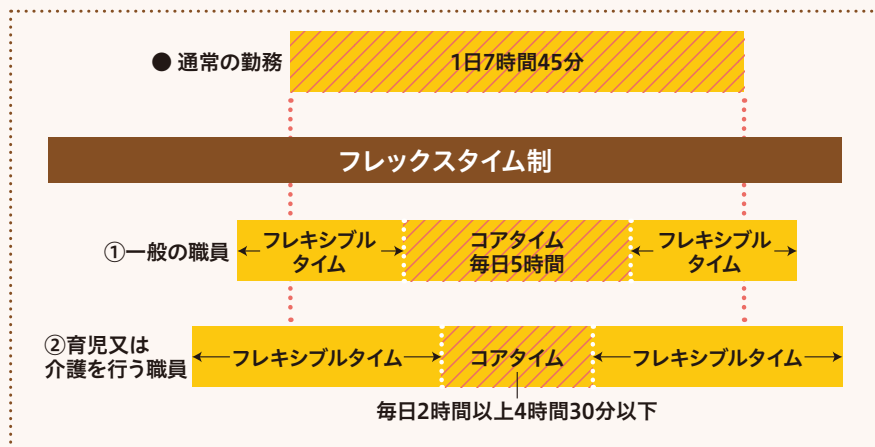
平成28年4月から、適切な公務運営の確保に配慮しつつ、原則として全ての職員を対象にフレックスタイム制を拡充しました。

概要

- 対象を原則として全ての職員に拡充。
- 希望する職員から申告があった場合、公務の運営に支障がないと認められる範囲内において、職員の申告を考慮して、4週間以内の期間につき、勤務時間を割り振ることができる。

イメージ

- 割り振り単位期間(4週間。育児・介護職員については1～4週間)の中で、1週間当たりの勤務時間数が38時間45分となるように割り振る(4週間の場合155時間)。
- 育児・介護職員については、日曜日及び土曜日に加え、週休日を1日設けることができる。



POINT

コアタイムは全員が勤務。
フレキシブルタイム(原則として7時～22時)は、その範囲内で、
・勤務時間帯を早める(遅らせる)こと
・1日の勤務時間を短く(長く)して、その分、他の日の勤務時間を長く(短く)すること等が可能。

国家公務員の フレックスタイム制活用の好事例

育児

【40代・女性・本府省係長級】

毎週月曜・金曜日を8:45出勤に、火曜・水曜・木曜日を7:45出勤に設定し、終業時刻を繰り上げることで、学童のお迎えに行ったり、子供の帰宅を家で迎えることができるようになり、子供達と過ごす時間が増え、充実した親子のコミュニケーションができています。

また、保護者会やPTA活動などの学校行事等が行われる際には、あらかじめ勤務時間を他の日に多く割り振り、当日は午前中までの勤務時間とするなど、午後からの行事等に参加できるようにしている。

利用の動機・良かったこと等

従来では、学校行事等に参加する際には年次休暇を使用していたが、あらかじめ行事等の日程に合わせて勤務時間・業務を調整することができ、また年次休暇も有効活用することが可能となった。

● フレックスタイムによる勤務時間のイメージ(1週間単位)



国家公務員のフレックスタイム制活用の好事例

介護

【50代・女性・本府省室長級】

隔週月曜日又は金曜日を週休日とする。不足する7時間45分については、他日の始業時刻を30分～1時間繰り上げ、昼の休憩時間を30分に短縮、かつ、終業時刻を30分～1時間繰り下げることによって捻出し、4週間で155時間を確保。

利用の動機・良かったこと等

フレックスタイム制度を利用し、隔週の月曜日又は金曜日を週休日とすることで、遠隔地に独り暮らしをしている母親を訪問し、介護を行っている（かかりつけ病院への付き添い、ケアマネージャーとの面談、食料品調達、美容院・親戚等への外出時の送迎等）。

以前は、短期介護休暇制度を利用していたが、年次休暇に加え、自分だけが5日間余分に休暇を取ることになり、周囲に対して心苦しくもあり、また、年間5日と定められていることから、休暇が不足するのではないかと、この不安が常につきまとった。フレックスタイム制度の週休日を取得することにより、不在となることに変わりはないものの、最低限の勤務時間は確保できることから、周囲への配慮も軽減され、休暇の残日数を気にする必要もなくなった。

●フレックスタイムによる勤務時間のイメージ(4週間単位)



効率的な働き方

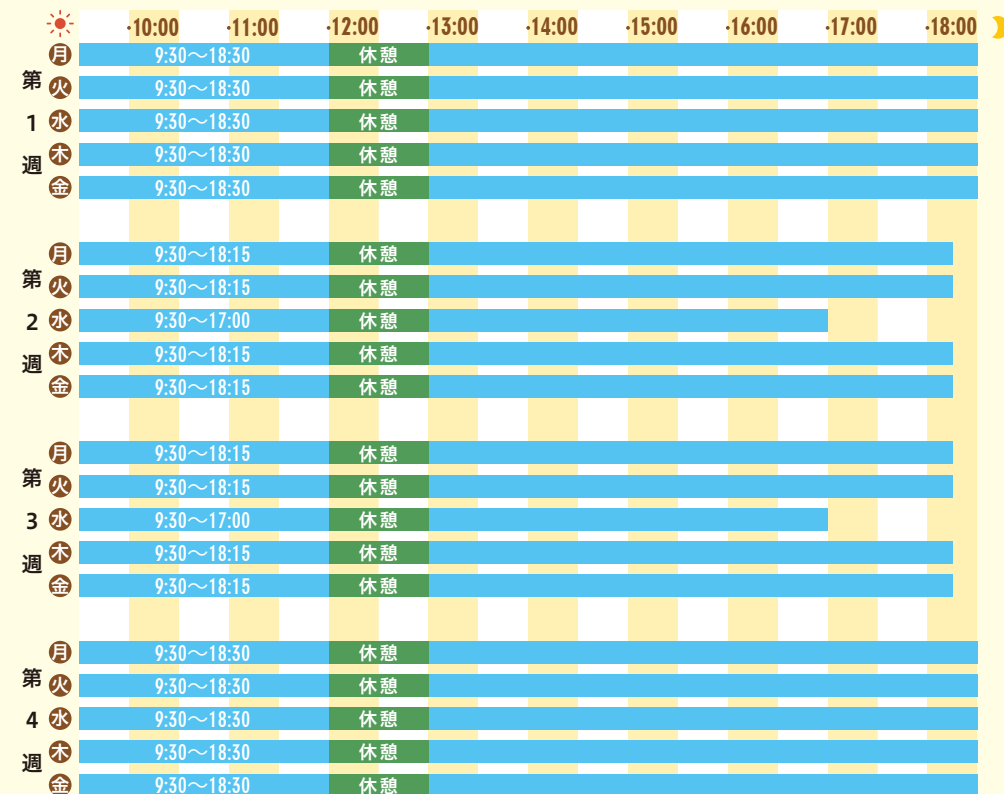
【30代・女性・本府省係長級】

担当係内で調整の上、業務繁忙が見込まれる月末と月初の終業時刻を通常(18:15)より15分繰り下げて勤務時間を延ばし(18:30)、比較的業務が落ち着く月の中旬の特定の曜日における終業時刻を繰り上げて、早期に退庁。

利用の動機・良かったこと等

あらかじめ業務繁忙が見込まれる月末と月初の勤務時間を長くする一方、比較的業務が落ち着く月の中旬の特定の曜日については、勤務時間を短くすることで早期に退庁し、買い物やライブ観戦に時間を充てることができた。

●フレックスタイムによる勤務時間のイメージ(4週間単位)



●その他の事例は以下の内閣人事局HPをご覧ください。
http://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/flextime_jirei.html

自分なりのキャリアを見付けるために



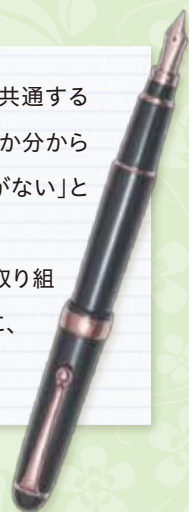
株式会社ライフ・ポートフォリオ

代表取締役 社長 まえはら 前原 はづき Hazuki Maehara



今後のキャリアを考えるに当たって、「自分と職歴やライフスタイルが共通するロールモデルの先輩が身近に余りいないので、何を参考にすれば良いのか分からない」、「育児や介護で時間制約がある中でキャリアアップしていく自信がない」といった不安を抱えたことはありませんか？

女性のキャリア形成支援やダイバーシティ推進に関する企業研修等に取り組まれている株式会社ライフ・ポートフォリオ前原はづき代表取締役社長に、自分なりのキャリアを見付けるためのヒントを教えてくださいました。



■ ロールモデルは「青い鳥」幻想

『ロールモデルがない』—— 女性活躍推進の取組の中で、必ず出てくる言葉です。ですが、この「ロールモデル探し」…本当に意味があるのでしょうか？

実際にロールモデルを紹介されたとき、後輩世代の女性陣から出てくる反応は「自分とは違う」という言葉のオンパレードです。「すご過ぎて参考にならない」、「私はあになりたいわけじゃない」、「実家が近くだからできること」、「理解のあるパートナーで羨ましい」等々…。

キャリアの考え方や基本的な能力、生活環境は人によって千差万別。「この人こそ我が理想!」というような都合の良い人は、そう簡単には見付きません。

加えて、「社会背景の違い」という大きな要素もあります。先輩世代と自分とは、そもそも生きている時代が違います。単純に自分に当てはめられる事例など、存在するはずがないと思いませんか？

例えば、職場にパソコンが普及したのはたった20年前。スマートフォンが発売されてから、まだ10年程です。今盛んに論じられているテレワークも、20年前には「技術的にあり得ない」働き方でした。

皆さんが「ロールモデルはいないかな」と眺めている先輩方は、今とは違う、それぞれの時代の中で、自分自身のベストを尽くして道を切り拓いてきたのです。そんな先輩方を見て、「自分の理想と違う」と難癖を付けるというも、随分失礼な話ではないでしょうか。

皆さんの目の前には、先輩が切り拓いた

茨の道が「舗装済みのハイウェイ」として広がっている。その結果、先輩の働き方がハード過ぎると感じたり、逆に物足りなく見えたりするのは、ある意味当然のことかもしれません。

先輩の作った道を通して、先輩よりもっと先に進んで行く。それが皆さんの道——キャリア、そして人生——なのです。

■ “ロールサンプル”を増やそう

ロールモデル探しは非現実的——とはいえ、先輩から学べることはたくさんあります。大切なのは、「自分の理想を体現した唯一無二のモデルケース」を求める意識を捨てることです。

私はキャリアについてお話する際、男女問わずできるだけたくさんの「ロールサンプル」を探すことをお勧めしています。職業人として、家庭人として、趣味人として、人生の先輩として…魅力的なところ、まねしたいところを持った同僚・先輩・上司を見つけ、その“要素”を学べば良いのです。

これであれば「私とは違う!」ということもありません。たくさんの人から学んだ要素を、自分なりに咀嚼して、オリジナルのスタイルを作り上げていけば良いのです。この小冊子(女性国家公務員のワークスタイル事例集)も、ロールモデルを探そうと読むのではなく、「参考にできる要素はないかな?」と読み込むと、より深く・広く役立てることができるようではないでしょうか。

もちろん、たくさんの「ロールサンプル」から集めた要素を一つのスタイルにまとめ上げる

ことは簡単ではありません。でも、それこそが、皆さんが自分自身の人生を考え、選び取っていくプロセスと言えるでしょう。手間を惜しまず、知恵を絞って、じっくりと正面から取り組む価値のあるテーマだと思いませんか？

■ 一生の時間軸で考えよう

同時に皆さんに考えていただきたいのが、上を目指して猛スピードでステップアップすることだけがキャリアではない、ということです。育児や介護といった家庭の事情や、御自身の健康上の不安などから、キャリア形成が一時的にスローペースになることもあるでしょう。

キャリアとは、人と競い、トロフィーを獲得することではありません。一人の人間として仕事に真剣に向き合った時間、一つ一つの経験の積み重ねそのものが、皆さんのキャリアになっていきます。

これからの時代は、一人の人が50年程度の職業人生を送ることが一般的になっていくでしょう。介護や育児で、5年～15年間にわたって働き方に制約が出たとしても、職業人生全体から見れば限られた期間でしかありません。

人との競争ではなく、自分の時間・人生という有限の資源の中で、自分がどのように働き、暮らしていきたいかを突き詰めて考える中で、だんだんと自分なりの“最適解”が見えてくるはずです（これは、女性にだけ両立生活のために妥協しろという話ではありません。男性も、仕事人間的な生き方を強いられる社会で、自分の人生の在り様や家庭との関わり方を模索して、日々悩んでいます。）。

一方で、50年の職業人生を真剣に考えるなら、一人一人の働き手が、自分の責任において少しずつ成長し、変化に対応し続けていくことが求められます。これまで以上に技術の進化がスピードアップし、AI（人口知能）の活用などでヒトが行うべき仕事も様変わりしていくでしょう。

「現状維持で定年までいられればいい」「新しいチャレンジはしたくない」という意識で10年・20年過ごしていたら、職場に自分の居場所がなくなっていく時代です。ちょっと怖いお話ですが、日々の仕事の中で小さな成長を続けていけば、そんな事態は回避できるはず。

キャリア形成とは、「意識の高い人の考える、野心的なこと」ではありません。自分と自分の大切な人を守っていくために必要な、小さなチャレンジの積み重ねでもあるのです。

■ キャリアの「積み上げ」と「幅出し」

そして、キャリア形成について皆さんにお伝えしたいのは「積み上げ」のキャリアに捉われず、「幅出し」も意識してほしい、ということです。

一般に「キャリア形成」というと、一つのテーマや分野で経験を積み上げて知見を深めていく「積み上げ」をイメージされる方が多いように思います。そのため、異動などで全く異なる分野や担当業務に変わることです。これまでの経験が無意味になってしまった」とやる気を失ってしまう人も少なくありません。

ですが、分野や担当の変更はキャリアの「幅出し」ができる得難い経験です。一時は、

新しい環境や業務に大変な時期もあるでしょうが、キャリアに文字どおり“幅”、つまり広がりが出てくるのです。

一つの方針・担当でキャリアを積み上げるといっても、どこかのタイミングで成長がストップしてしまうことが多いものです。新しいテーマに取り組み、キャリアの「幅出し」を行うことで、様々な力や視点が備わり、より働き方の可能性が広がっていきます。

ぜひ、キャリアの「幅出し」を意識して、様々な業務や分野にチャレンジしてみてください。

■ 仕事は人生を切り拓く“武器”

輝きなさい、管理職を目指しなさい、そして良き母、良き妻に——そんな社会からのメッセージに、息苦しさを感じている方もいるでしょう。でも、それは他人の言うことです。他人の決めた合格点を取るのではなく、ぜひ、御自身のために、生きること、働くことを考えてほしいのです。

仕事は本来、皆さんの時間を奪う苦役でもなければ、責任を負わせ押しつぶすものでもありません。皆さんの人生を自由なものにし、大切な人を守る力を与えてくれる、心強い味方になり得るものです。

つまり、キャリア（働く経験）とは「人生を切り拓く武器」と言えます。仕事の経験やそこで培った力は、役に立つことはあっても、邪魔にはなりません。

「30年間、女性の働く環境は全く変わっていない」という方もいますが、丁寧に見ていくと

着実に社会は変化しています。現在の介護・育児環境の課題も、刻々と状況が変わっています。大切なのは、常にアンテナを立て、自分に必要な情報にアクセスしていくこと。そして、状況に応じて工夫を積み重ねていくことです。

その時、どう働き、どう両立するかは、その時にならなくては判断が付きません。今からあれこれと細かくシミュレーションをして不安になるよりも、まずは力を付け「いろいろな選択肢を選ぶ自分」になることを目指してほしいと思います。

仕事を味方に、皆さんの人生を豊かに切り拓いていってください。

私も、皆さんと一緒に、楽しみつつ進んでいきたいと思っています。

